

済々黌

141年目 新たな扉を開け

イデアITカレッジ阿蘇の挑戦
TSMCが熊本にやってくる！

済々黌と台湾

 済々黌 
同窓会会報

2023年/令和5年/第39号

編集・発行 済々黌同窓会

〒860-0862 熊本市中央区黒髪2丁目21番50号 (一財)多士会館内
☎096-345-3002 ㊚096-346-3225



济々豊ブランドを世界へ！



济々豊同窓会 第11代会長
諸熊 建次 (S44)

济々豊同窓会の皆様、こんにちは！
野口敏夫前会長の後任として、第11代济々豊同窓会会長に就任しました昭和44年卒の諸熊建次です。

私は、野口前会長を始め、数多の先達たちが長年に亘り培って来られましたこの同窓会を、济々豊創立140周年の記念の年を終え、次の150周年への新たな時代に向け、更に発展させていかなければならないとの負託を担うことに、責任の重大さを感じております。

私は、海外も含め、主に西日本・関西での様々なキャリアでの職業人生を終え、50数年振りに故郷熊本にUターンすることにした一卒業生であります。

紙面の都台で多くは語れませんが、私の半世紀に亘るキャリアを振り返った時、济々豊の先輩・後輩、大学や大学のクラブの先輩・後輩、そして熊本県出身者の皆様方との様々な局面での出会いと触れ合いが無ければ、現在の私は存在していなかったと思われま

私の思い過ぎかもしれませんが、故郷熊本を客観的に見て来た時、概して昔から熊本人は、そして济々豊の卒業生もまた内向きと見られがちではなかったでしょうか。以前、济々豊が「スーパー

グローバル・ハイスクール」に指定されたとの一報に接した時、「おや、今回は素晴らしい話だなー济々豊で学ぶ生徒たちも世界をリードするグローバルリーダー(济々多士)への成長を目指して頑張っているな！皆で、応援しようよー」とそんな嬉しい感慨に浸ったことを思い出しております。

時は正に、グローバル化、ボーダーレス、ジェンダーレス、ダイバーシティの時代です。「くまモン」の国際的な活躍ではありませんが、是非とも、熊本人、特に、济々豊人にもっと大きく国際舞台で羽ばたいてもらいたいものです。

济々豊同窓会の組織は今や全国津々浦々に拡がっております。東京や関西、東海地区は勿論のこと、昨年は北海道同窓会が立ち上がりました。海外では、上海、ハワイ、ロサンゼルス、インドネシアなどでも支部が創られております。

今後の情報化時代の同窓会活動は、従来の各地区同窓会内での縦だけの繋がりの貌ではなく、横との繋がりが、即ち、他地区同窓会とも緊密な連携をなし、同窓生が何処に居ても自由にその地域の同窓会活動に参加できるような体制を構築することが肝要だと思われま

济々豊は次の創立150周年に向けた新たな時代の幕開けです。武道の世界に、「襲古還新」と云う名言があります。昔のことを捨て去らずに大切に考え、新しいことを創造するの意です。昔、過去があるから今がある。そして未来へ、常に新しいことに挑戦し続ける。

これからの同窓会活動の活性化のためには、新たな事業・活動への挑戦と併せ、同窓会活動内容の今後一層の「見える化」、「可視化」が不可欠です。様々な世界で活躍中の各地区の同窓生が同窓会活動に積極的な参画を図ることに依り、济々豊の同窓会活動の露出度を高め、三綱領の精神の基、元気を振るい、文明を進み、「济々豊ブランドを世界へ」発信して行きたいものです。同窓生の皆様方の絶大なるご支援・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

豊長挨拶



济々豊高校 第33代豊長
鶴山 幸樹 (S58)

同窓会の皆様には、本豊教育活動の充実に対しまして篤い御支援を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年2月11日、本豊は創立140周年を迎え、11月に挙行了しました記念式典を中心とした一連の記念事業に対しまして、皆様には多大なる御援助を賜りました。特に、本豊構内に移築されている同心学舎の改修及び周辺整備並びに桜の植樹につきましては、同窓生有志の皆様が深い母豊愛により表現に至ったものと豊長として謝意とともに心から敬意を表するところで

私が高校3年の秋、創立100周年記念式典が盛大に挙行されました。そして今回、140周年事業に携わる機会に恵まれ改めて本豊の歴史を振り返る中で、その時間的・人材的スケールの壮大さに圧倒される思いがいたしました。歴代の豊長先生方の御功績や御心労に思いを馳せ、職責の重さを再認識した次第です。

さて、この3か年余りの間、本豊は「コロナ禍における豊風の継承」という大きな課題に直面しながら、職員一同、教育活動が停滞せぬよう鋭意取り組んでまいりました。特に、今春の卒業生は在学中実に8回もの感染拡大の波に翻弄され多くの我慢を強いられる3年間を過ごしたわけですが、3月の卒業式において、総代生徒は答辞の中で『天地万象皆我が師 進まん理想の目標に』の精神を胸に今後の社会を謙虚に力強く生きていきたい』と決意を述べてくれました。コロナ禍であっても、济々豊という風土文化に身を置く中で遅く成長した姿に心を打たれるとともに、身内ながら職員の尽力を誇らしく思う瞬間でした。

今年5月には「第138回恩賜記念大運動会」を盛大に開催しました。フィナーレでは多くの御観覧の皆様に見守られながら、生徒・職員皆で立田山を越えて響かんばかりに三綱領唱和・豊歌斉唱を行い震えるような一体感を味わうことができました。「5月の济々豊の景色が戻った」と感激した次第です。今後も自由闊達な中にも伝統を重んじ人との絆を大切にする豊風、長期的な視点での人間教育を重視する豊風を尊重しつつ、新たな時代の波に乗り、次代のリーダーたる多士の育成に努めてまいります。

最後になりますが、同窓会の皆様の御尽力で設立された多士会館では、毎日多くの生徒が学習活動等でお世話になっております。歴代会長、事務局の皆様並びに開館ボランティアの方々を始め、全ての皆様の御厚意に心から感謝申し上げます。

今後、御指導・御鞭撻の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ごあいさつ



同心会 会長
荒川 慎太郎 (H3)

昨年度に引き続き、同心会会長を仰せつかりました、平成33年卒荒川慎太郎と申します。

同窓会の皆様におかれましては、日頃より本豊生徒並びに同心会活動へのご協力、ご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年度は本豊創立140周年という節目の年を迎える中、同窓会におかれましても様々な事業を通じて、母豊に対する愛校心を更に醸成していく取り組みを実施していただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。

とは言え、昨年度の卒業生たちはコロナ禍による様々な制限下での学校生活を丸3年間強いられました。

そんな彼らも同窓会の一員として名を連ねることになりましたので、今後是非ご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願いいたします。

さて、新型コロナウイルスの影響が収束したわけではございませんが、5月8日から感染症の分類が5類へと移行したことを受けて、社会情勢も大きな変革の時期を迎えております。

去る5月14日には、第138回恩賜記念大運動会が、4年ぶりに入場制限なしの状態で開催されました。多くの保護者や近隣住民の皆様方、また他校の生徒たちの姿も見られる中で、在校生たちが元気を振るう、澆刺とした姿を目の当たりにすることが出来ました。運動会を見ている中で感じたことは、競技で活躍する生徒たちはもちろんのこと、運営面もほぼ全てを生徒自身で行っていく、自主自立の姿の素晴らしさでした。

また、運動会前日には街頭パレードも行われ、おそらく同窓生であろう方々が、目に涙を浮かべながら温かく見守っていただいている姿も目に出ることが出来ました。

これほど先輩方から愛されている生徒たちのごことを、保護者である同心会役員の一ひとりとして、非常にありがたく、また誇らしく思ったものでした。

今後、学校においてはコロナ禍前の姿を取り戻すべく、様々な活動が活発化して行くものと思われま

そのような状況が必要とされるのは、学校と同窓会、そしてPTA組織である同心会とが協力し、三位一体となって生徒たちのために手を携えて活動することであると考えます。

彼らもやがて卒業し、同窓会の一員となって参りませ

その生徒たちの経験と思いつくりのため、そして輝かしい未来のために、保護者の立場として大変恐縮ではございますが、同窓会の先輩方、皆様からのご協力、ご支援のほど、何卒宜しくお願い申し上げます、同心会を代表してのご挨拶とさせていただきます。



学校、地域の未来について語る井手修身さん

は4年ほど前にさかのぼる。復興の一環として、村は「学生を再び迎え、にぎわいを取り戻したい」として、村出身で地域おこしコンサルティング会社「アイデアパートナーズ」（福岡市）を運営している井手さんに誘致対策を依頼した。熊本大学を卒業後、「リクルート」に入社し、独立後も各地で様々な地域活性化に取り組んだ井手さんにとっても誘致は難題だった。そこで、以前から、「IT人材が日本で定着できる仕組みをつくりたい」と考えていた井手さん自身が学校を開設することを決めた。

さんには「面白い！やりましょう」と快諾。同窓生のネットワークが生かされて誕生したIICA。小さな学校の大きな挑戦は始まったばかりだ。「世界で活躍するIT人材を輩出したい」。夢を語る井手さんが目指す学校像は「進化した続ける、永遠に完成しない学校」。最後に「この学校づくりに一緒に関わってください」と呼びかけた。



寄贈された中西信雄さんの油絵

が活気を帯びている。皆さんはこうした大きな時代の変化の中、本校で多くのことを学んでほしい」と激励した。

「自ら機会を創り、機会によって自らを変え、自分と世界を幸せにしていきたいと思います」。専門学校「アイデアITカレッジ阿蘇」（IICA・イイカ）は4月6日、2期生の入学式を開き、写真上、学校法人（イデア熊本アジア学園）の理事長と校長を兼ねる井手修身さん（57）が挨拶で述べた。仲間入りしたのは24人。昨年4月に入学した1期生30人と合わせ、2年制の学校は態勢が整った。2期生の国籍はインド、ネパール、中国、フィリピン、ミャンマー、トルコと日本の計7か国。年齢も異なっている。IICAは「ITソリューション」「グローバルITビジネス」の2学科を設置し、ITを設計、製作、運用する人材や、ITを活用してマーケティングや観光サービス業に活かす人材を育成している。企業からの提案に基づいてカリキュラムを組む「注文式教育」を導入しているのが特徴だ。IT企業、IT活用企業、ホテル・旅館、観光施設の約50社・団体が注文式教育に参画しており、講師の派遣やインターンシップの受け入れ、就職支援を行っている。

学びの灯を点火

アイデアITカレッジ阿蘇では、学びの火がシンボルになっている。阿蘇山の火口、東京五輪の聖火、火が登場する人気アニメ「鬼滅の刃」にあやかり、向学心を消すことなく、向上心を燃やすよう、毎朝、学生らが火を灯している。入学式では、井手さんが火をつけた写真上。



チャンスを掴め！ アイデアITカレッジ阿蘇の挑戦

小さな半導体が熊本を大きく変えようとしている。菊陽町に進出した台湾の半導体メーカー TSMC（台湾積体回路製造 / Taiwan Semiconductor Manufacturing Company）は熊本工場の建設を急ピッチで進めている。投資規模は約1兆円、新規雇用は1700人に上るとされ、幅広い波及効果が見込まれている。その一方で、課題も少なくない。その一つ、半導体産業を含む、IT（情報技術）の人材育成を目指す取り組みを、同窓生が阿蘇山ろくで続けている。専門学校を開校し、県内外やアジア各国から集まった学生にITをベースにした授業を行っており、来春には第1期生が巣立っていく。（取材＝田上賢祐・S49、写真＝吉田光一郎・H3）

「自ら機会を創り、機会によって自らを変え、自分と世界を幸せにしていきたいと思います」。専門学校「アイデアITカレッジ阿蘇」（IICA・イイカ）は4月6日、2期生の入学式を開き、写真上、学校法人（イデア熊本アジア学園）の理事長と校長を兼ねる井手修身さん（57）が挨拶で述べた。仲間入りしたのは24人。昨年4月に入学した1期生30人と合わせ、2年制の学校は態勢が整った。2期生の国籍はインド、ネパール、中国、フィリピン、ミャンマー、トルコと日本の計7か国。年齢も異なっている。IICAは「ITソリューション」「グローバルITビジネス」の2学科を設置し、ITを設計、製作、運用する人材や、ITを活用してマーケティングや観光サービス業に活かす人材を育成している。企業からの提案に基づいてカリキュラムを組む「注文式教育」を導入しているのが特徴だ。IT企業、IT活用企業、ホテル・旅館、観光施設の約50社・団体が注文式教育に参画しており、講師の派遣やインターンシップの受け入れ、就職支援を行っている。



入学式で挨拶をする田上秀尚さん

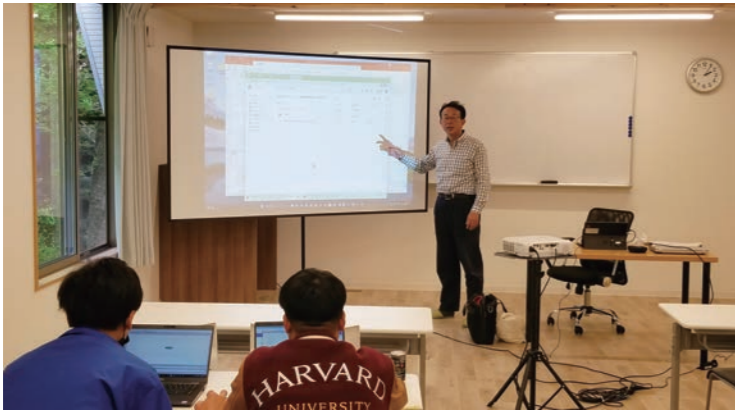
南阿蘇村でITを推進する「南阿蘇ITバレー協議会」の会長を務めている。入学式では、「夢を持ち、その夢を語り合っ て行こう」と訴えた。また、田上さんはこの日、済々黈で同級生だった中西信雄さんが夏の阿蘇を描いた油絵の大作（50号）をIICAに寄贈したことを紹介した。

南阿蘇村は2016年の熊本地震で被災し、村にあった東海大農学部のアソキャンパスは閉鎖され、学生約800人が村を離れた。IICA開設のスタート



Idea IT College Aso

専門学校 アイデアITカレッジ阿蘇



小山さんはアイデアITカレッジ阿蘇の講師も務めている（本人提供）

台湾の半導体メーカーTSMCが熊本県に進出する意味やその効果、課題を熊本高専名誉教授の小山善文さんに聞いた。――まず、TSMCとはどんな会社なのか。
小山さん（以下、敬称略） TSMCはIntel、Apple、NVIDIAなどの半導体メーカーから委託を受けて半導体の製造を行うことに特化した会社で、世界の半導体生産の約半分を担っています。キオクシア（旧東芝メモリ）の売上高が約1兆円、ソニーセミコンダクタが1兆円弱なのに対し、

し、TSMCの売上額は約6兆円規模です。TSMCの日本法人JASM (Japan Advanced Semiconductor Manufacturing) が2024年末の操業を目前に、驚異的なスピードで工場建設を進めています。当初の投資額約8千億円のうち、約半分の日本政府が支援することを表明し、言わばTSMC進出は国策です。
――TSMCはなぜ、進出先に熊本を選んだのですか。
小山 TSMC側の要因として、台湾に近いユーザーの近くに工場を作ることがまず挙げられます。日本だと、ソニーのイメージセンサーやデンソーの車載用ロジックICがユーザーになります。また、日本は製造装置や材料での強みを持つのも要因です。さらに、日本政府の財政的な支援も大きな要因です。日本では、回路幅10〜20ナノのICを作る予定です。台湾は、地政学的問題（中国問題）、半導体製造に必要な大量の水の確保、エネルギーの安定供給の問題、また、優秀な人材確保にも課題を抱えています。
九州の半導体産業は、1967年に三菱電機が熊本市弓削（北区）に半導体工場を建て、製造を開始したことに始まります。以後、九州各地に半導体工場が積み、九州はシリコンアイランドと呼ばれました。熊本は半導体関連企業も含めて半導体製造の一大集積地となっています。ちなみに、ソニー熊本では、世界中

のスマホのカメラ部分（CMOSイメージセンサー）のほとんどを作っています。日本の半導体生産はその後、凋落傾向となり、2020年の世界半導体売上ランキング10位内には、キオクシア（旧東芝メモリ）が8位にあるだけです。日本が凋落した理由には、日本のメーカーが開発・設計から製造まで1社で行う垂直統合型なに対し、外国企業は開発と製造を分離する水平分業型で売上を増加させて来たことにあります。その代表的企業がTSMCです。TSMCをはじめ、外国企業と協力して半導体産業を復活させることに日本の浮沈がかかっていると言えます。
――TSMCの熊本進出による経済効果を教えてください。
小山 関連産業も含めての生産額は現状の8千億円から1兆9千億円に拡大し、雇用者数は2万1千人から2万6千人に増加すると見られています。TSMCの進出だけでなく既存の半導体メーカーにも動きがあり、三菱電機はパワー半導体（SiC）の増産工場を菊池市に建設、東京エレクトロン九州は研究棟を建設すると発表し、ソニーもCMOSセンサーの増産工場の建設を予定しています。TSMCから約300人が熊本に勤務するとされ、家族も含めて多くの台湾の方が熊本に居住することになります。日本全国から

学の底上げ



建設が進むTSMCの半導体工場＝2023年3月6日、菊陽町（熊本日日新聞社撮影）

TSMCが熊本にやってくる！

進出が熊本内外に与えるインパクトを考える

― 第2工場も熊本に建設か？

TSMC（台湾積体電路製造 / Taiwan Semiconductor Manufacturing Company）の進出を受け、民間企業（産）、国・地方公共団体（官）、教育・研究機関（学）でも、様々な取り組みが広がりを見せている。TSMCは第2工場の建設地も熊本を候補とすることが報じられており、熊本を大きく変える一大プロジェクトに向き合い、産官学の各分野で活躍する同窓生を紹介する。

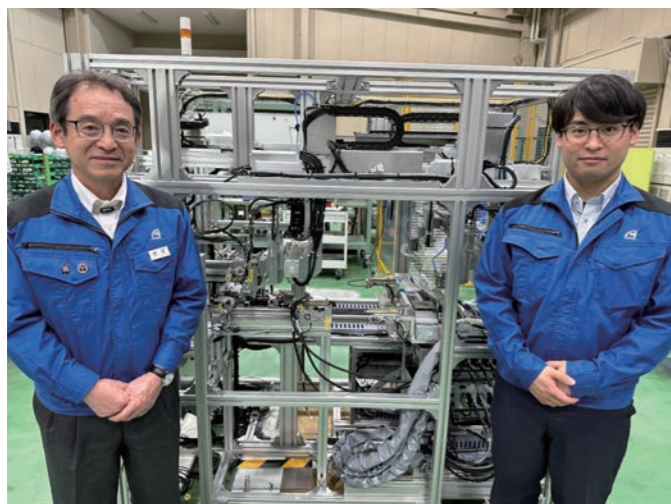
熊本高専名誉教授・^{おやま}小山 善文さん（S52）に聞く



熊本高専で、学生を指導する小山善文さん

小山善文さん 済々黌に入学後、軟式テニス部に入学したが、テニス仲間と硬式テニスクラブ（愛好会）を作り、テニスに打ち込んだ。熊本大学工学部に進み、東芝に入社。その後、熊本に戻り、熊本テクノポリス財団電子応用機械技術研究所を経て、熊本電波高専（現・熊本高専）の教授に就任。嘱託教授（名誉教授）になった現在も、教育研究の仕事に携わっている。専門は電子情報学。前項で紹介したアイデアITカレッジ阿蘇の講師も務めている。

熊本への人材流入も増加することでしょう。――その一方で、どのような課題が挙げられますか。
小山 一番の課題は人材の確保です。TSMCは約1700人規模の半導体人材を必要とし、TSMC本体から300人とソニーグループからの200人以外は、新卒と中途採用で700人を、それ以外をアウトソースで採用する計画です。TSMC以外の企業も合わせると約5千人規模の人材が必要とされています。
熊本高専ではTSMC進出以前から半導体人材育成に力を入れて来ました。1996年に当時の教育機関では珍しい半導体クリーンルームを学内に設置して、学生教育や研究を開始しました。2019年には、半導体製造装置開発企業と人材育成プロジェクトをスタートさせ、学生の現場課題解決力を向上させる研究型インターンシップに取り組んでいます。1999年から5年間、熊本大学を中心に産学官連携コンソーシアムを立ち上げ、経産省からの委託で「超精密半導体計測技術開発事業」を実施した実績を持ちます。
このような人材育成の下地が熊本にあ



荒尾淳さん (S52) と長男の侑典さん (H22)

半導体の仕事に関わって

株式会社アラオ 社長
荒尾 淳 (S52)



クリーンルームで実習する学生 (熊本高専の角田功・准教授提供)

私の会社は父(済々贗定時制卒)が1957年に創業した金属加工を営む個人企業が始まりです。創業時は農業や林業の機械部品の製作をしておりました。1970年に半導体メーカーの熊本進出により同メーカーからの仕事、いわゆる半導体の仕事との関わりができました。その当時父は半導体など知る由もなく、その仕事を受けるべきかどうか随分迷ったそうですが、その会社の社長の「半導体の仕事をすれば20年は心配いらぬ」との言葉を信じ、受けることにしたそうです。その「20年」は実際には「30年」になるのですが(後述)。

「着工から1年、TSMC熊本工場のその威容が姿を現した」。5月1日の熊日新聞の見出し記事です。世界最大の半導体ファウンドリーTSMCが2024年12月の稼働を目指し工場建設を進めています。今、熊本では半導体に関する話題が尽きません。私は1990年から半導体関連の仕事に従事しています。と言っても半導体そのものを生産しているのではなく、半導体の製造や検査をする専用装置を製作しています。地域の中小企業として、半導体の仕事との関わりを以下に記します。

私が済々贗に通っていた1974年、1977年、すでに会社では半導体の仕事をしており、時々その関連の仕事の手伝いをしていました。それは機械装置のカムの加工座標の計算や部品の加工位置に印をつける作業などです。高校生の時から知らないうちに半導体の仕事に関わっていたことになりました。九州がシリコンアイランドなどと呼ばれ出したころです。半導体立国日本へ向けて駆け上っていたころです。1987年設立のTSMCはまだ影も形もありません。私の大学時代も父の仕事の関係で当時はまだはしりのパソコンを入手でき、卒研のデータ計算をさせていました。高校・大学と半導体にお世話になっていたわけ



昨年納品した画像センサー製造装置

産のチカラ

大学卒業後、私は大阪の企業を経て1990年に父の会社に入社しました。半導体の仕事を始めた当初は部品加工のみを受注製作しておりましたが、その後半導体メーカーの勧めもあり機械設計者、電気・ソフト設計者、組立・配線担当者などを採用・教育し、人材にも恵まれ小規模ながら客先仕様に合わせた装置の設計から製造・据付までの一貫生産ができるようになっていました。90年代は日本の半導体は世界を席巻し、熊本の工場は世界一のメモリ生産拠点となり、4年に1度程度の小さな景気の波はあるものの、忙しく仕事に専念できた時代でした。そして2000年を迎えるころ、古い3工場に分かれて操業しており、スペースも狭く、効率の悪さを改善すべく、富合にできる工業団地に新工場を建設し、そこに3工場を集約することにしました。ちょうど画像センサーメーカーの熊本進出もあり、新工場への期待で胸が膨らんでおりました。2001年4月新工場が完成し全面移転。その折も折でした。ITバブル崩壊です。半導体の仕事に関わり「30年」、それまでとは様子が変わりました。2001年から今日ま

るものの、今のTSMC進出に際しては人材供給の点から不十分のようです。日本政府も人材育成に力を入れ、熊本大学や熊本高専に半導体人材を養成する専門カリキュラムの設置を支援します。熊本高専では半導体講座を新たに設置し、半導体人材の育成を開始しました。この講座は熊本のみならず全国の51国立高専にも展開予定で、高専全体として半導体教育に力を入れる計画です。熊本大学では新たに文理融合型の学部を新設して、その中に半導体人材を育成するコースを2024年春に開講予定です。県立技術短期大学や県立高校でも工業系を中心

に「半導体技術」科目を作り、現場に強い人材を供給する体制作りが進んでいます。個人的には、半導体を含むICTと水を含む環境を同次元で学べるハイブリッド型教育コンテンツで地元熊本のことを学ぶ仕組みができれば面白いと思っています。人材以外の課題では、交通インフラと水の問題があります。製造には多くの水が必要とされますが、熊本の宝である阿蘇の伏流水を大量に使用することへの県民の警戒感も強くなります。竜門ダムからの疏水を活用する計画もありますが、環境に配慮した形で水の利用が望まれますね。

——熊本、日本の将来、世界の情勢については、どのようにお考えですか。

小山 まず重要なのは優秀な人材の育成です。熊本高専生の多くは進路先として県外を希望します。今回のTSMCの進出で学生の進路選択に影響があるかを調査したところ、「地元熊本で何か新しい大きなことにチャレンジができて」「一つの企業に留まらず身に付けた能力と資金を次のステージに活かすことが容易そう」「高収入が得られそう」との回答がありました。TSMCの進出で地元志向の学生が増加するきっかけになるかもしれません。

外資系企業は、育てるものではなく、自分で育つ者を選ぶ方針が日本企業以上に強く、自分で考えて行動する人材を育てることが今以上に重要になります。一方、地元経済界からすると、TSMCの進出で製造業、不動産業、教育業、飲食業など多くの産業が活性化することは間違いありません。

その反面、高収入の仕事求めて人材の流出も起こる可能性があります。実際に、県内企業から内定を受けた学生の内定拒否や社員の転職なども一部発生しているようです。JASの2024年度卒入社者の月給は28万円と、国内の平均給与よりかなり高く設定されており、給与面を考えての転職は今後も起こると予想されます。地元企業にとっては、給与もさることながら、福利厚生やキャリア形成などで社員の満足度を向上させる取り組みがより一層求められ、地元企業にとって変革のチャンスだと捉えることが重要です。

国内では、Rapids株式会社、トヨタ自動車、デンソー、ソニーグループ、NTT、NEC、ソフトバンク、キオクシア、三菱UFJ銀行の共同出資で、2023年に設立され、北海道千歳市に製造拠点を置く計画です。日本政府も700億円の拠出で支援します。2022年12月にIBMとの共同開発パートナーシップ締結を結び、IBMの2nmノード技術のさらなる開発を共同で推進し、2025年に試作ライン、

2027年に2nm以下の先端ロジック半導体の開発・量産を目指します。

2030年代になると、世界的には自動車やAI分野での需要が高まる中、ファウンドリー(製造)は台湾と中国に多くあるため、地政学リスクが懸念され、経済安全保障の面でもリスクがあります。アメリカを巻き込む有事が台湾周辺で発生した場合、半導体の調達と流通について、悪い意味で大きな影響が出る可能性があります。エネルギーを海外に依存する日本としては、半導体の製造基盤を国内に持つことは将来の経済安全保障上、不可欠とされます。

TSMCの進出で熊本から日本の半導体産業界に大きな影響を与えるのは間違いないと思います。県内では、半導体業界のみならず、経済界や教育界、さらには文化面まで変化をもたらすという期待感が大です。今後、熊本と台湾の交流はより一層盛んになり、熊本に台湾街ができるかもしれません。熊本で生産された半導体を搭載した「空飛ぶ車」が行き交い、交通渋滞解消に役立つ日が訪れるのを夢見ています。(聞き手 田上賢祐・S49)

崇城大でも人材育成

半導体産業界への人材育成については、熊本市の崇城大学(中山峰男学長・S41)などでも取り組んでいる。

大学卒業後、私は大阪の企業を経て1990年に父の会社に入社しました。半導体の仕事を始めた当初は部品加工のみを受注製作しておりましたが、その後半導体メーカーの勧めもあり機械設計者、電気・ソフト設計者、組立・配線担当者などを採用・教育し、人材にも恵まれ小規模ながら客先仕様に合わせた装置の設計から製造・据付までの一貫生産ができるようになっていました。90年代は日本の半導体は世界を席巻し、熊本の工場は世界一のメモリ生産拠点となり、4年に1度程度の小さな景気の波はあるものの、忙しく仕事に専念できた時代でした。そして2000年を迎えるころ、古い3工場に分かれて操業しており、スペースも狭く、効率の悪さを改善すべく、富合にできる工業団地に新工場を建設し、そこに3工場を集約することにしました。ちょうど画像センサーメーカーの熊本進出もあり、新工場への期待で胸が膨らんでおりました。2001年4月新工場が完成し全面移転。その折も折でした。ITバブル崩壊です。半導体の仕事に関わり「30年」、それまでとは様子が変わりました。2001年から今日ま



熊本は半導体サプライチェーンの中心になる

熊本県経済観光局総括審議員
前熊本県企業立地課長
工藤 晃 (S61)

「TSMCは熊本に大きなインパクトをもたらしている」と語る工藤さん

熊本県庁で企業誘致に携わる企業立地課長を務めていた2021年11月、TSMCが熊本に新工場を設置することを発表しました。「本当か」。最初に驚きがあり、次に「これまで経験したことがない、大変なことが起こる」との気持ちが生じました。この直感はずくに現実になり、TSMCや半導体を巡る様々な動きは、熊本ではもちろんのこと、全国でも大きな出来事になりました。

熊本と半導体との関わりは古く、1967年に三菱電機が立地したこと始于ります。その後、NEC（ルネサスエレクトロニクス）、東京エレクトロニクス、ソニーをはじめ、企業が次々に立地し、半導体関連産業は半世紀以上にわたって集積・成長し、今や熊本の基幹産業の一つとなっています。こうした素地があったからこそ、熊本が立地先として選ばれたわけです。先輩方の熱意と努力に改めて感謝し、未来へと繋げていくことが私たちの使命だと思っています。

TSMCの進出が公表された直後、県では、知事をトップとする「半導体産業集積強化推進本部」を設置しました。TSMCによる投資規模約1兆円、新規雇用1700人は、県内では過去最大級で、進出に伴う課題

解決や県内への波及効果の拡大に向けて、県を挙げて取り組んでいます。民間の調査によると、TSMCの進出によって、関連企業の拠点の設置や雇用、住宅投資など幅広い波及効果が見込まれ、その額は10年間で約4兆3千億円になると試算されています。これは、2020年度の県民所得（1年間に県民が得た給与や企業の利潤等の合計。県民経済全体の所得）とほぼ同額です。

一方で、工場周辺の渋滞対策や人材の確保、地下水の保全などの課題解決・対応も求められています。そのため、道路の新設や拡幅、大学等と連携した人材育成、水田を活用した地下水のかん養などを進めています。

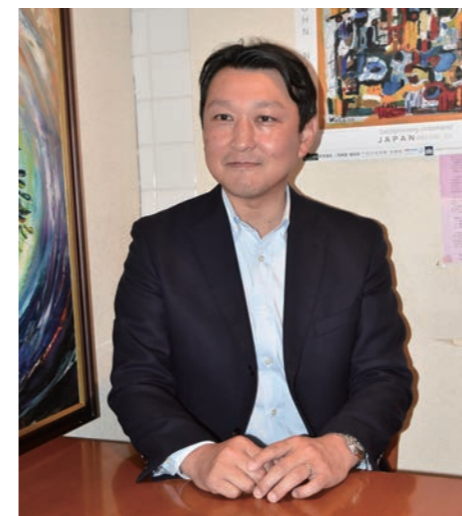


官の後押し

私はこの4月から熊本市役所に派遣され、企業誘致をはじめ、産業や観光の振興に取り組んでいます。これまでとは違った立場ですが、半導体との関わりはまだまだ続きそうです。

熊本が進むチカラになる

三菱UFJ銀行 熊本支店長
吉住 博史 (H6)



「メガバンクならではの機能や強みを提供したい」と語る吉住さん

昨年4月、三菱UFJ銀行熊本支店長として赴任しました。28年ぶりの熊本生活です。地元の振興のために働けることを誇りに思います。また、経済の視点から故郷である熊本を眺めることができるのも醍醐味の一つです。

私は小さな頃から野球が好きで、高校・大学とも野球部に所属しました。母賢では残念ながら甲子園出場は叶いませんでしたが、充実した青春時代でした。進学した慶應義塾大学では、元巨人軍監督の高橋由伸がチームメイトで、3年春の東京六大学野球リーグ戦で優勝。神宮球場から三田キャンプ場まで優勝パレードをしたことが何よりの思い出です。

卒業後、現在の三菱UFJ銀行に入社、当初から世の中の役に立つ仕事があった。この想いは変わりません。

進学した慶應義塾大学では、元巨人軍監督の高橋由伸がチームメイトで、3年春の東京六大学野球リーグ戦で優勝。神宮球場から三田キャンプ場まで優勝パレードをしたことが何よりの思い出です。

例えば、半導体産業の集積に向けた取り組みでは、MUFJの半導体産業との取引の厚さを活かして、サプライヤーが

これまでのキャリアを振り返ってみると、私が大切にしている価値観の源流は母賢の三綱領にあると感じます。三菱グループにも同じく三綱領があります。同じ時代に作られた二つの三綱領の根底に流れる思想は近く、変化の激しい時代にこそ、必要な考え方であると思います。特に社会人となってから、その意味や深みを実感しています。だからこそ、若いOB・OGの皆さんには、在学中に何度も唱和した三綱領に誇りを持って人生の指針に据え、判断に迷った時に立ち返る原点にして欲しいと思います。私も三綱領の思想を大切にしながら、残りの在任期間を通じて悔いのない結果が残せるように頑張ります。

での20有余年、半導体の主役は日本から韓国、中国、台湾に移り代わりました。ITバブル崩壊に始まり、リーマンショック、熊本地震、コロナパンデミックと立て続けに災厄が発生し、大変ではありましたが社員や関係各位のお陰で何とか生き残っています。そして今年5月、

長男（H22）が入社しました。まだしばらくは私も仕事を続けながら、上手に後進に託してゆくつもりです。TSMCの熊本進出は我々に様々な影響を及ぼすでしょうが、多くの人たちが良い影響を享受できることを切に望んでいます。



済々巒野球部では主力選手だった（本人提供）

進出する際のお手伝いや地場企業とのビジネスマッチングを進めています。「MUFJだからこそ実現ができた案件だった」と言っていただけのことか励みです。今後も自治体等と協働した街づくりや、地場企業の円滑な事業承継、工業の発展と農業の生産性向上の両立、スタートアップや第二創業の支援を通じたイノベーションの加速、台湾をはじめとするアジア諸国との交流や貿易拡大、投資の呼び込みなど、熊本が進むチカラになるためのさまざまなチャレンジを続けていきたいと思っています。

済々黌と台湾

TSMCが本社を置く台湾と済々黌は、歴史的に深いつながりを持っている。日本が統治した時代にさかのぼって、台湾にまつわる歴史を調査、研究している同窓生2人に登場してもらおう。

台湾旅行のすすめ

平井数馬顕彰会
会長 白濱 裕 (S46)



台湾への修学旅行で、生徒らとスナップ写真に納まった白濱さん(中央)

(済々黌)の架け橋となった最初の人物
と言ってよいでしょう。

済々黌は、草創期から台湾とは深い縁があります。佐々友房先生は、我が国が東亜の天地に向かって発展せんとする時局に応じて、海外雄飛の人材を養成するため、全国に先駆けて本黌に支那語学科を設け、幾多の人材を育てました。その意図は、「是れ全く進取の気象を發達し、冒險的思想を養成せんと欲する教育の一点にして……」(克堂佐々先生遺稿)というものでした。

本誌第37号(2021年発行)に紹介しましたが、台湾の近代教育は、日清戦争直後、吉田松陰の甥・楯取道明以下、全国から選ばれた6人の教師たちが派遣され、台北市北部の芝山巖(しやんがん)教室にお

いて呱呱の声をあげます。彼らは、台湾人子弟と寝食を共にしながら、まさに『台湾の松下村塾』を実現すべく、心魂を込めて教育に当たりますが、明治29年(1896年)元旦、約百人の匪徒(抗日ゲリラ)に取り囲まれ、全員が惨殺されてしまいます(「芝山巖事件」)。その中の一人が、本黌支那語学科卒で、最年少(17歳)の平井数馬でした。

事件後、台湾の教育は劇的な発展を遂げ、今日の発展した台湾を築く基となりました。非命に斃れた彼らは、今でも敬意を以て「六氏先生」と呼ばれ、芝山巖は台湾教育の聖地とされています。その意味で、平井数馬は、台湾と熊本

台湾で活躍した本黌卒業生の中には、平井数馬の他にも、台湾初代総督・樺山資紀に随行して台湾に赴き、同心学舎時代から佐々先生に師事した宗方小太郎、台湾総督府の要職を務めた古荘嘉門(熊本権党総理)や高橋守雄(第七代熊本市長)など錚々たる人物がいます。

さて、台湾のTSMCの熊本進出に伴って、県内の自治体と台湾諸都市との友好交流協定の締結が相次ぎ、熊本はまさに「台湾ブーム」の様相を呈しています。教育面においても姉妹校締結や台湾修学旅行の実施校も年々増えています(令和2年(2020年)、熊本高校も計

画したが、コロナ禍で中止)。大津高校の校長を務めた私は、在任最後の年の平成23年(2011年)12月に台湾への修学旅行を実現することができました。県立高校で学年単位では県下初というところで、県当局との交渉は難航しましたが、今振り返ってみて、感受性豊かな高校時代に外国の若者と交流し、見聞を広めることの意義を改めて感じています。

なぜ台湾を選択したかという点、親日的で治安も良く、日本統治時代の建物や遺跡が今なお大切に保存されており、台湾のために尽くした先人の志を偲び、日本人としての誇りと自覚を深めることができること、また、地政学的にも我が国と「運命共同体」であり、生徒が国際認識を深めるために最適な訪問地であることなどがその理由です。

海外チームに籍を置くサッカー日本代表の若者たちの活躍を見ても、島国に暮らす私たち日本人は、外国体験によって覚醒するDNAを持っているようです。「たかが修学旅行、されど修学旅行」。熊本と台湾の絆がますます深まりつつある今日、願わくば、本黌生が修学旅行で台湾を訪れ、芝山巖で平井数馬先輩の名が刻まれた六氏先生の墓に詣で、佐々先生が願われた「進取の気象を發達し、冒險的思想を養成」する契機となる日が来ることを念願しています。

二つの「明治橋」

熊本と台湾
交流発展の架け橋に
山本 理 (S49)



台北市にあった初代の明治橋 (画像提供:土木学会付属図書館)

山橋」と名称は変わった後も2002年(平成14年)まで使用され続けました。また大阪鉄工所は、総督府民政局長・後藤新平の要請により明治31年(1898年)に基隆に進出し、台北明治橋が架けられる頃には日本人150人程が働く工場となっていました。当社の社史⑥では「そのころ台湾には工場らしい工場が無く、総督府工事部の仕事は大半が当分工場に発注」されていたと記録されています。



大分県の明治橋

とも調査を進めていくつもりです。

大阪鉄工所は、昭和18年(1943年)に名称が日立造船となったものの、現在まで143年間途切れることなく事業を続けてまいりました。熊本県長洲町に有明工場があり、今年度で操業50周年を迎えます。また台北市には支店があります。面地にまたがる地元企業として熊本と台湾との交流の発展に一層寄与していきたいと思っ

私は、日立造船株式会社(本社・大阪市)の143年にわたる歴史に関する仕事に携わっています。明治14年(1881年)に大阪・安治川口で、英国人E. H. ハンターが創業した造船所「大阪鉄工所」が当社の前身です。今回は、創業者ハンターがまだ現役で活躍していた時代に架けられた2つの「明治橋」をご紹介します。その1つは、明治34年(1901年)に架けられた鋼トラス橋の「明治橋」です。もう1つは、翌年の明治35年に架けられた鋼桁橋の「明治橋」です。形式は異なるものの、ともに鋼道路橋です。前者は台湾総督府が架設し、昭和7年(1932年)まで台北市に存在していました(「台北明治橋」)。一方、後者は大分県が臼杵市に架設したものです。今日まで120年以上も地域を支え続けています(「大分明治橋」)。県指定の有形文化財です。当時、鋼製の道路橋の建設は「きわめて稀有なことで」であるにもかかわらず、この2つの鋼橋は相次いで架設され、しかも名称はともに「明治橋」

大分明治橋は大阪鉄工所が工事に携わりました。当時の日本では鋼材はまだ製造されていなかったため、当所は範多商会という貿易商社のロンドン支店を通じ輸入していました。大分明治橋に使用された鋼材に、DORMAN LONG社の刻印があり、英国からの輸入品であったことが確認されています③。設計は大分県技師・安田不二丸でした。

台北明治橋は、台湾で最も格が高い台湾神社の参道の一部として、総督府技師・十川嘉太郎によって設計されています④。しかし、実際に架設工事に携わった会社は明らかではありません。なお、昭和7年に台北明治橋は架け替えられますが、新しい橋も「明治橋」と名付けられます。景観に配慮された立派な橋でした。この橋に大阪鉄工所は236トンの鉄骨を提供しています⑤。新しい明治橋は戦後「中

このように台北と大分の2つの明治橋は、ほぼ同じ時期に架設されている鋼橋であること、大阪鉄工所が総督府工事部の仕事は大半を受注していたことなど、状況としては台北明治橋の建設に大阪鉄工所が関与していても不思議ではありません。さらに台北明治橋を設計した十川技師の上司で土木課長の長尾半平は、大分明治橋の安田技師の東京大学の1年先輩で、ともに内務省入省という経歴です。道路用の鋼橋が稀有な時代に、長尾と安田の2人が連絡を取り合っ

【参考文献等】
(1) 社団法人土木学会「明治橋の歴史的価値と保全方法」平成20年4月
(2) 1897(明治7)年にハンターによって設立されていたハンター1商会(後に「範多商会」)のロンドン支店が、大阪鉄工所の輸入代理店業務をしていたと考えられます。『第9回日本全国諸会社役員録』明治34年に掲載された同商店の広告に多少の少なとも1900(明治33)年にはロンドン支店は開設されていた。
(3) (1)と同じ
(4) 北海道大学文書館年報、7、59、92「『展示』「台湾」渡った北大生たち」第一期・第二期・第三期
(5) 台湾総督府道路港務課長池田季宙「明治橋架設工事」『土木建築工事画報』昭和7年4月号(日本土木学会図書館デジタルアーカイブ)
(6) 日立造船株式会社「日立造船百年史」昭和80年



大同窓会の御礼

実行委員長 和泉伸之介 (H14)

5月21日(日)の創立141周年済々黌同窓会大同窓会にご参加いただきまして同窓生の皆様、誠にありがとうございました。

昨年の夏、令和元年以来4年ぶりの開催を目指す中で大きな懸念となったことが、コロナ禍でした。準備段階から一刻一刻と変化していく感染の波に過去3年間の幹事学年の先輩方が悩まされている姿を見てきた中で、我々平成14年卒業に大同窓会実行委員の幹事学年が回ってきました。

学年内では当初、従来通りホテルの会場を借り、懇親会まで行う形を模索しておりましたが、いくつかの問題に直面しました。一つは開催日が日曜日であり会場の確保が難しかったこと、もう一つはホテルで開催する際には会場に人数制限がかかってしまう可能性が高かったことです。その折、野口敏夫会長やその他の同窓会役員の皆様の今年こそはぜひ開催したいという思いと今回の前記課題を合わせて考える中で、懇親会を伴わない、飲食は出来ないが、その分収容人数の大きな会場だと大同窓会当日がコロナ禍の真ただ中であったとしても開催を中止することがないような今回の形式が案としてあがってきました。

最初は、皆様に受け入れられるのか、前例のない形での開催に不安はありましたが、同窓会の役員、幹事、代表評議員等様々な先輩・後輩の皆様にご協力や励ましの言葉を頂きながらなんとか開催にこぎつけました。当日は同級生なども30名程度集まってくれましたし、平成13年卒の先輩方や後輩たちも運営をバックアップしていただき非常に頼もしい限りでした。

今後この形式が定着していくのか、従来通りの形式に戻るのか、はたまた新しい形で開催となるのかは今後の幹事学年の後輩の方々に任せたいと思いますが、私たちは、新たな同窓会のカチを提示することができ、また大同窓会という行事をリスタートすることができ、とてもよかったですと思っています。またそれと同時に、新たな挑戦であっても同窓生は先輩輩問わず開催を後押ししてくれることに済々黌の伝統やつながりの強さを感じさせられました。

目まぐるしく生活や世界情勢が変化していく昨今、これからも済々黌大同窓会は続いていくことと思いますが、後輩の皆様の新しい感性や考え方を生かして、歴史を再び紡いでいってほしいと思います。



記念祝賀会を開催

前事業委員会 委員長 幸山政史 (S59)

令和4年11月11日、済々黌創立140周年を祝う記念式典が学費主催で熊本県立劇場にて、また当日夜には同窓会主催による記念祝賀会が熊本ホテルキャッスルにて開催されました。

コロナの影響もあり平成2年から連続して大同窓会の開催も見送られてきましたが、140周年は一つの節目でもあり、コロナ対策に万全を期した上で久しぶりに多くの同窓生が集う会を催すこととなりました。中村俊雄幹事長 (S44) の開会の辞に始まり、主催者の野口敏夫会長 (S38)、来賓の鶴山幸樹賛長 (S58) の挨拶に続く緒方孝臣第23代賛長 (S33) の乾杯の首頭で開宴。

当初は、学外からの来賓招待を控え、一学年3名までと人数制限したために、盛り上がりに欠けるのではとの懸念の声も一部にはありましたが、開宴後には、記念式典の映像や140周年記念事業の紹介、大同窓会実行委員会担当学年 (平成13年卒) 製作のオリジナルタオルの販売、飛び入りでの大先輩による賛歌斉唱なども行われ、盛況のうち記念祝賀会を終えることができました。



済々黌創立140周年記念

元JAXA宇宙飛行士の山崎直子さんと東京パラリンピック2020水泳競技メダリストの富田宇宙さん (H19) をお迎えし、済々黌創立140周年記念市民公開セミナー「多士講座」を「九州・熊本から宇宙へ羽ばたけ」宇宙開発から考える私たちの暮らしと多様性」と題して開催しました。

富田さんはその前年の「多士講座」の講師としてもお招きしており、メダル獲得までの苦労話などを話してもらい、その最後には子どもたちから宇宙飛行士になることが夢であり、現在も宇宙に関する事業には関わり続けている」ともお話しいただいていました。

講演会は2部構成で、1部の山崎さんの宇宙飛行士としての体験に基づいた講演に続く2部の山崎さんと富田さんの対談では、富田さんにとっては憧れの存在である山崎さんと共演する富田さんの目が少年のように輝いているのがとても印象に残りました。

16回目を数える多士講座は過去最多の参加者で賑わい、質疑応答でも現役高校生など次々に手が挙がりました。多くの皆さんに夢と希望を与えた有意義なセミナーになりました。



各地の同窓会

全国に繋がる黄色い絆

東京

濟々覺東京同窓会

新宿のホテルヒルトン東京にて、4年ぶりの東京同窓会が開催されました。コロナで大変な苦勞をされた平成5年卒の先輩方から引き継ぎ平成6年卒が実行委員を務めました。久しぶりの開催で不安もありましたが、当日、会場は再会の喜びと濟々覺愛に溢れ大盛況で幕を閉じました。皆様から感謝の言葉を頂きましたが、待ち焦がれていた



東京同窓会2023実行委員 平成6年卒一同

多くの同窓生の想いが会を盛り上げてくださったのだと思います。ありがとうございます！
（実行委員長 浅野（中嶋）綾子・H6）

関西

濟々覺関西地区同窓会

コロナ禍で活動が停滞した3年間でしたが、昨年10月開催の「創立140周年記念の総会」を契機に諸活動が復活してきました。加えて、140周年を期に「地域多士会」の活動をスタートさせました。
関西地区を5つの地域（大阪北・大阪



南・兵庫・京滋・奈良）に分けて、各地域で「近場の交流」を活性化させる狙いがあります。
各年次会の活動とこの地域の活動の両輪で関西地域の活動を活性化させていきます。
（幹事長 本田重寿・S40）

東海

濟々覺東海地区同窓会

2022年11月5日、名鉄グランドホテルにて、第45回濟々覺東海地区同窓会を対面で、開催する事が出来ました。
振り返れば、2019年5月の名鉄ニューグランドホテル以来となりまして。この間2020年5月は中止となり、2021年11月に第44回同窓会をZoomで開催しました。「2022年こそは対面」の強い思いで取り組み、丁度世の中のタイミングとも合致しピンポイントで開催する事が出来ました。現在、世の中も改善方向となり、今年の第46回同窓会も、11月4日に名鉄グランドホテルで計画しており、より多くの皆様と集まれる事を楽しみに、企画を進めていきます。又それまでに例年の若手懇親会、ビヤガーデンも予定しております。



ここから、第45回同窓会についてご紹介いたします。準備期間におきましては、先ず原点を戻り東海地区の同窓生のみで濟々覺を懐かしもうと考えました。しかし、まだまだ世の中の状況が厳しく、ご出席の人数も読めぬ中、必ず開催の一念で、ご案内差し上げたところ、9月末には20名規模のご出席の目途が立ち、開催に踏み切りました。開催に当たりましては、ホテル側と最大限の対策を準備し当日に臨みました。
最終的に14名のご出席となりました。お懐かしいお顔の皆様でした。最初にご

の3年間で、ご世界された先輩方へ黙とうをささげ、次に総会議事内容を皆様でご確認ご承認頂きました。安部会長のご挨拶の後に、懇親会へうつりました。皆様お久しぶりでしたので、ご近況を全員から頂き、和気あいあいと、正に東海地区同窓会らしくアットホームに会が進みました。しめは、全員マスクで賛歌とエールを唱和し久しぶりの楽しい会をお開きと致しました。

東海地区近傍の皆様におかれましては、濟々覺navi等からのご連絡をお待ち申し上げています、お会いできることを楽しみにしております。
（事務局長 尾方良晋・S52）

福岡

濟々覺福岡同窓会

5月13日、4年振りに「ひがしの会」の懇親会が開催された。九州産業大学近くの居酒屋を借り切り、32名の参加者で大いに盛り上がった。

さて、今年は濟々覺創立から数えて141年目となるが、140周年の昨年は母覺の国公立大学合格者数が全国一となった。同窓生の一人としてこれほどの喜びはなく、週刊朝日のページをめくりながら一人で悦に入って晩酌の杯を重ねた。

ところで、福岡に住む同窓生の数は熊本、東京に次いで3番目に多い。その福



ひがしの会での賛歌斉唱

岡に「濟々覺福岡同窓会」が誕生したのは今から65年前の1958年である。当時の写真を見ると30〜40名程度の会合だったが、参加者は回を重ねるごとに増え続けた。1973年にはゴルフ好きの同窓生たちが「黄壁城会」をスタートさせた。ゴルフは先輩後輩の壁を取り払い、同窓生としての絆も強くなった。
このような雰囲気の中で開催された、濟々覺創立100周年を祝う福岡同窓会総会・懇親会は大いに盛り上がりを見せ、出席者も過去最高となった。
しかしながら、その後は参加者が伸び悩み、2000年頃になると100人を切るのが常態化し、若い同窓生からは年寄りの集まり」と敬遠され始めるようになった。

同窓会存続に危機感を覚えた幹事諸兄が、何度も会合を持ちながら生み出したのが「学年幹事」と「アットラクション」だった。このアイデアは大成を収め、学年幹事方式初年度の2004年の懇親会では、いきなり150名近い参加者を集めた。特に女性の参加者が増えたことで懇親会に華やきが戻った。

もう一つ福岡同窓会の発展に寄与しているのが、2008年以降、次々に結成された「筑紫会」「西新会」「ひがしの会」などの地区同窓会と「福岡学生会」や「同期会」の存在である。
福岡市には会合の場に中州や天神などの繁華街があることも大きい。そして、その天神が「天神ビッグバン」の名称で大変貌を遂げようとしている。近い将来、福岡市は若い同窓生にとって更に魅力的な大都会になるに違いない。

コロナ禍で2年間の中止を余儀なくされた福岡同窓会も今年は結成65周年の記念の総会・懇親会となる。320名の同窓生が参集した10年前の55周年総会・懇親会を凌ぐような集いになることを願っている。未来に輝け！福岡同窓会”である。
（奥村英行・S41）

北九州

濟々覺北九州同窓会

2023年6月3日、4年ぶりに濟々覺北九州同窓会を開催

宮崎

濟々覺同窓会 宮崎多士会

宮崎多士会では毎年の例会に加え元ソフトバンクホークス大竹選手の激励会や現役大学生の歓迎会な



昭和20年卒の大先輩はじめ現会員11名、新規の参加2名の北九州会員13名と諸熊新会長をはじめとして熊本、福岡、広島地区の幹部の方の参加を頂き、総勢19名で楽しいひと時を過ごしました。残念ながら今回は学生の参加は有りませんでした。同窓会会報を読まれた北九州方面在住の方、是非とも北九州同窓会に連絡参加されてください。（会長 山本哲明・S43）

各地の同窓会

どを定期的に開催し会員間の交流を深めてきました。

今年はコロナ明けの年として対面での活動を増やしたいと考えています。他同窓会とのコラボセッションもぜひ！

(事務局幹事 林田匡史・H11)



令和4年度例会

北海道

済々黌北海道同窓会

北海道地区は「北海道同窓会(仮称)」で地区同窓会リストにうつすかと存在していましたが、今回、正式に北海道同窓会を設立することになりました。

5月3日に幹事会を開催し準備を進め、総会・懇親会を6月24日(札幌にて)に無事開催できました。

また、Facebookでページ(FB上「済々黌北海道同窓会」で検索)も作成しましたので皆様の参加をお待ちしております。

(幹事長 中迫修二・S59)



2023年度総会・懇親会

大矢野

済々黌同窓会 大矢野会

上天草市大矢野町を主体とする地区同窓会の済々黌同窓会大矢野会・羽室道夫会長(S31)は、令和4年12月31日をもって閉会致しました。今後も引き続き非公式な集いは続けて行きたいと思っています。

(事務局 島田 等・S49)

2020年3月に済々黌を卒業し、好きだった英語をもっと学びたいという想いを胸に、私は東京外国語大学に入学しました。華の東京生活に期待を抱きながら迎えた学生生活でしたが、昨今の新型コロナウイルスの影響により、想像していたものとはかけ離れていました。授業はオンライン形式がほとんどだったため、実際に大学に行く機会は少なく、授業で顔を合わせるはずだった友人や所属しているチャアリーディング部の仲間にも会えない状況が続きました。

当たり前前の日常に感謝

皆様、はじめまして。令和5年卒の神崎です。このような場に、私の文章を掲載する機会をいただき、関係者の方々に感謝いたします。

さて、まずはコロナ禍において始まった私の高校生活についてですが、たくさんの方々が一度は思ったことでしょう。「今の世代の子たちは可哀相」。これは優しい誤解です。もちろん、開催できなかった行事や、普段通りではない生活を強いられた部分もありますが、私が「私たちはコロナ禍という状況で、いかに最大限楽しむかを常に模索していました。そうして現状を楽しむ能力」というものを培ったように感じます。

でも、私は感染防止対策を守りながら、毎日与えられた環境の中で全力を尽くしてきました。今では対面による授業が行われる機会も増え、部活動の時間制限もなくなり、徐々に「当たり前前の日常」が戻りつつあります。不自由なく学生生活を送れていること、学びたいことを学べていること、部活動を通してかけがえのない仲間と日々活動できていること、それら全てに感謝しています。

いま現在は「学んだ語学力を生かしながら留学すること」、そして「部活動の大事」

これは、私たちの強みなのではないでしょうか。これから先の世界でも、いつ今回のような大きな変化が起こるかは誰にも分かりませんが、しかし私たちは、どう変化していく世界でも楽しんでいけるような気をつけています。

次に、現在の私について綴らせていただこうと思います。私は同級生の中で唯一、卒業後すぐに就職という道を選択し、また研修中の身ではありませんが国家公務員として職務に従事しています。大学生となったり、大学受験のために努力したりする友人たちが眩し

コロナ禍での学生たち

高校、大学時代は人生の中で最も自由を謳歌できる時期、コロナ禍でこの3年半を彼らはどう過ごしてきたのか。2人の同窓生に寄稿してもらった。



東京外国語大学 言語文化学部 光澤 祐太郎 (R2)



税務大学校 神崎 嘉依星 (R5)

会で全国大会決勝の舞台に進むこと、この二つの目標に向けて日々努力しています。高校生活で学んだ文武両道すなわち勉学も部活動も全力で取り組む。このことを、これからも継続していきたいと考えています。

振り返ってみれば、済々黌の3年間で学んだことは、現在の私にとっても大きな影響を与えています。いま高校生活を送っている後輩の皆さんにとって、も、済々黌で過ごした日々はこれからの人生にとってかけがえのないものになります。コロナ禍から脱却します。コロナ禍から脱却し

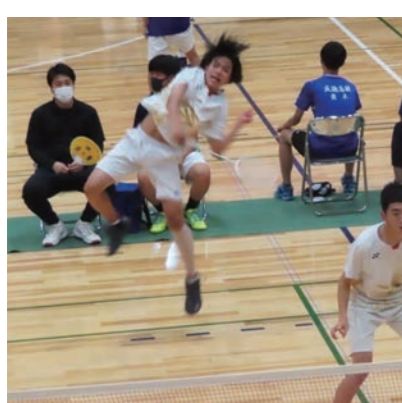
く見えるときもあります。しかし、私が進んだ道もまた、先にも希望が溢れるものであり、努力することが楽しいと思えるような環境で働かせていただいています。私は、自分の選択を信じていることの大切さを感じました。進路に関しては相当悩みました。たくさんの人からアドバイスを受け、ああしたら良いよ、こうしたら良いよと言われるたびに、自分の選択に自信がなくなり心が揺れました。最終的に私は、後悔しない道を自分自身で選択しました。この選択は、これまでの人生における数々の選択の中で最良

後悔しない道を自分自身で

のものだったと確信しています。なので最後に、若輩者ですが後輩たちへのメッセージとして、「進路選択に揺れたときは、後悔のない道を進め」という言葉を残しておこうと思います。



チャアリーディングの演技で (筆者は下段中央)



高校3年の県総体で

地区同窓会リスト

全国地区同窓会	熊本地区同窓会	海外同窓会
済々黌東京同窓会 会長/池田 久利(S42) 事務局/水野 潔(H元)	八代済々黌同窓会 会長/藤浦裕一郎(S44) 事務局/池松 桂至(S56)	上海済々黌同窓会(申賛会) 会長・事務局(兼任) 清水 亮(H5)
済々黌東京大学支部 会長/松尾 慶典(H24)	人吉球磨済々黌同窓会 会長/岡 啓嗣郎(S34) 事務局/隅田 節子(S58)	済々黌同窓会ハワイ支部 会長/ジャンベベカ(妙)明子(S60) 事務局/澤田 興洋(S41)
済々黌東海地区同窓会 会長/安部 賛(S47) 事務局/尾方 良晋(S52)	済々黌同窓会山鹿支部 会長/星子 悦郎(S43) 事務局/田上 涼子(H12)	済々黌インドネシア同窓会 事務局/松久保良平(S60)
済々黌関西地区同窓会 会長/中村 弘則(S41) 事務局/岡本 金之(S47)	済々黌天草同窓会 会長/酒井 保之(S36) 事務局/若松 健智(S51) 事務局/原田 隆紀(S51)	
済々黌広島同窓会 会長/杉田 裕(S43) 事務局/長谷 富美(S54)	大津・菊陽賛友会 会長/山内 和彦(S40) 事務局/西 龍二(S54)	
済々黌北九州同窓会 会長/山本 哲朗(S43)	済々黌合志市同窓会「賛志会」 会長/大嶋 和博(S41) 事務局/上野功一郎(S61)	
済々黌福岡同窓会 会長/小島 哲夫(S42) 事務局/加藤 秀憲(S47)	済々黌宇城地区同窓会 会長/古賀 康彦(S40) 事務局/佐藤 嘉晃(H2)	
済々黌同窓会宮崎多士会 会長/粟林 忠信(S38) 事務局/林田 匡史(H11)	済々黌南阿蘇同窓会 事務局/片山 公則(S45)	
済々黌同窓会鹿児島会 会長/横山 誠二(S42)	阿蘇町済々黌同窓会 会長/永田 忠彦(S37) 事務局/穴見 竜三(S57)	
済々黌北海道同窓会 会長/小島 肇(S45) 事務局/中迫 修二(S59)	小国郷多士会 会長/松崎 俊一(S50) 事務局/生田 敬二(S55)	
高知同窓会(仮称) 事務局/坂本圭一朗(H3)	一の宮済々黌同窓会 会長/桑島 元博(S33)	
	済々黌御船地区同窓会 会長/福味総一郎(S42)	
	済々黌同窓会 玉名郡市支部 会長/池上 緑良(S38) 事務局/肥田 信樹(S38)	
	済々黌植木町同窓会 会長/高木 清一(S45) 事務局/前田 大全(H14)	
	山都町済々黌同窓会 事務局/山下 泰雄(S56)	
		海外同窓会
		済々黌同窓会熊本県庁支部 会長/原山 明博(S57) 事務局/浦田 美紀(S60)
		熊本市役所多士会 会長代理/田中 俊実(S57) 事務局/清田 勇(H9)
		税理士多士会 会長/大塚 二郎(S49) 事務局/津曲 千鶴(S55)
		済々黌宅建多士会 会長/坂口 治史(S52) 事務局/柳山 肇(S56)
		済商会(済々黌商工会) 理事長/福山龍太郎(S58) 事務局/境 健次郎(H12)
		(株)熊本放送済々黌同窓会 会長/上野 淳(S48) 事務局/田尻 浩章(S62)
		済々黌運動部OB会連合会 代表幹事/今井 政文(S49) 事務局/吉村 昌展(S63)
		熊本黄壁城ライオンズクラブ 会長/南部 集平(H15) 事務局/片岡 孝文(H18)
		熊本多士ライオンズクラブ 会長/今井 政文(S49) 事務局/福島 大典(S60)

同窓会事務局

☎ 096-345-3002 FAX 096-346-3225
✉ tashi@seiseiko-dosokai.jp

子ども子育て応援隊

子どもや子育て中の親を取り巻く環境には様々な課題がある。これは決して、一部の限られた話ではないのだ。そんな課題に立ち向かい、奮闘する3人の同窓生を紹介する。



群馬
子どもの心に寄り添う 安楽岡 優子 (H8・旧姓:高村)

地球上の子どもの笑顔や目の奥の輝き、そして学びや遊びの楽しさを彼らと共有する瞬間が大好きです。

小中学校教諭として11年教壇に立ち、退職。被災地である東北の小学校や海外の孤児施設で子どもたちのサポートにあたり、世界や日本中を旅して回った中、たくさんの子どもたちに出会いました。

現在は、福祉と教育の狭間に残り残さがちな学校内外の子どもたちをサポートする活動をしています。今年度、出会っている子どもたちは40名ほど。子どもたちの多くは、学校が合わない子どもたちです。感受性が豊かな子。物事の本質を捉え、自分なりの考えを深めている子。大好きなことを追求している子。自分の居場所や学びの場を求めている子。一人ひとり、とても素敵な子どもたちです。



元気なスタッフのみなさんと (左端が雁瀬さん)

てきました。

そんな子育て環境に危機感を感じ、ほんの少しの間でもいいから母親という役割から肩の荷を下ろしてほしいという思いで、2007年専業主ママのための保育園を立ち上げました。

母親が笑顔でいることが子どもの笑顔



新規事業のマミスマテーブル

近年、日本の子どもたちを取り巻く環境には様々な課題があると言われています。文科省発表の不登校児童生徒数は年々増えているため、人数が増えていることを問題視しがちですが、子どもたちに問題があるのではなく、一人ひとりの子どもたちが心地よく学び育つ場が少ない状況であることが課題だと感じます。

5年前、夫(不登校やひきこもりを経験し現在はイラストレーター)と私(教職経験者)で、群馬県館林市に子どもの居場所・学びの場「まなびバ・シリウス」を立ち上げました。学校が合わない子どもたちや学校に通っていても様々な気持ちを抱えている子どもたちを対象にした小さな学びの場(オルタナティブスクール・フリースクール)です。築百年の蔵を拠点にオンラインも活用しつつ、日々、

つながるとの意味を込めて「マミスマイル保育園」と名付けました。15年以上、子どもの成長やママたちの相談に接してきて思うのは、多少子育てしやすい環境に変化してきたものの、相変わらず日本は子育てする親に厳しいということです。

企業の中でこそ女性の働きやすい環境が整いつつありますが、仕事が終わって帰宅してからの家事育児は毎日1秒を争う忙しさで、まるで戦争のようだとよく表現されます。食事の献立を考え、買物に行き、構ってほしいと甘える子どもをあしらいつつ急いで調理、自分の食事は後回しに子どもに食べさせ、風呂に入れ、寝かしつけ。子ども相手だと、これだけさえもスムーズにいく日はほとんどありません。子どもが寝た後も洗濯や皿洗いなど家事があり、自分の時間などほぼありません。日本の母親の睡眠時間は世界一短いそうです。そんな社会で、ママが笑顔で子どもに接することができるのでしょうか？



みんなで食べるとたくさん食べられます

心の居場所や学びの機会を提供しています。

同窓生の多くの方が、子育て・孫育て世代、地域の子どもたちを見守っている世代だと思えます。お子さんが学校に行きたくないと言った時は、まずは、まるっと受け入れて、そっと見守ってもらえたらと思います。その子の命を信頼し、その子自身のエネルギーを見守り、寄り添ってください。そのうち「あのね」と本気の気持ちを打ち明けてくるかもしれません。子どもたちの本音に耳を傾け、寄り添ってあげれば、その子は必ずと道を歩いていくと思います。

私たち大人や社会がすべきことは、それと同時に、一人ひとりにあった学びの場や居場所を用意することです。さまざまな連携がはかられるべきで、各地域で取組が進んでいますが、点と点が線や面になり、すべての子どもたちが安心して学び育つことができる温かい地域社会にしていきたいものです。

福岡 本当の子育て支援とは？

雁瀬 暁子 (S57)

少子化が叫ばれるようになって数十年。60年前と比べると、子どもの数は半減、一方65歳以上の数は7倍になっています。経済成長を優先した結果、核家族化が進み、母親だけに子育ての責任を負わせる風潮が、少子化を招いた大きな要因と

そこで、保育園の運営に加えて、この春から親子の食事と見守りをサポートする「マミスマテーブル」という事業をスタートさせました。平日の夕方から夜にかけての家事と育児にかかる手間を、保育士や地域の大人たちが請け負って、親子が笑顔で会話しながらゆっくりごはん



施設の壁には一面に温もりのある絵が (左が長谷川さん)

を食べたり、ちょっと休憩できる場所です。クラウドファンディングにも挑戦しました。この取組みが全国に広がって、多忙な親が笑顔で安心して子育てできると、少子化も多少改善していくのではなにかと期待しています。

得られずにいました。しかし、そのように逡巡する間に、子どもを取り巻く環境は7人に1人が貧困、1日のうちまともな食事を摂れるのは学校給食だけ、経済格差がそのまま教育格差になる、ヤングケアラーの問題が表面化する、ネグレクトを含む親からの虐待、不登校などますます厳しいものになっていきました。

高齢者も一人暮らし、またはそれに近い状態の人が増え、「1日中誰とも話さない」が日常になっている人や社会からの孤立の問題を抱えている人も多くいます。種々の支援がある子どもよりも高齢者の方が深刻だと言われる方もいます。

そのような社会のあれこれを考えていた2021年秋、拠点とできる場所を得ました。これを機に大学の退職を決め、22年8月子どもから高齢者まで多くの世代の交流拠点を目指して一般社団法人「多世代交流スペース ミモザ」を立ち上げました。事業の開始は今年4月。そ



まなびバ!シリウスを温かく支えるスタッフたちと (右端が安楽岡さん)



蔵の様子。訪れる人皆が『落ち着く』と言う場 (上写真が外観)

の間、施設内のリフォーム、協力者やボランティアの確保などに努めました。

活動内容は、月2回（土曜日）開く子ども食堂。こちらには高齢者を含む多世代の参加があり、地域食堂と言った方が適切かもしれません。その他の土曜日にはイベントを用意し、子どもから高齢者まで集えるように。また放課後は子どもたちに学習の場の提供をしていくことを計画しています。

夏休み期間中は、土曜日以外にも学習



厨房で提供する食事の準備をするボランティアの方々。写真左はお孫さんと参加

支援、食事の提供を行う日を設け、また、種々のイベントを計画し、実施していく予定です。様々な経験をした子供の方が、その機会のなかった子どもよりも人生の苦勞を耐えていく力が大きいというデータもあるそうです。もちろんそこには高齢の方の参加も。

大勢の人でにぎわう子ども食堂でも素敵だと思えます。しかし、本当に支援したいところに支援が届かないという悩みも子ども食堂には共通しているようです。ミモザでは、地域に密着して支援を届け、その過程で地域の多くの人が顔見知りになり、地域で子どもの見守りが自然とできていく。また、支援を受けた子どもが大きくなって、次は支援する側に回る、そういう循環により活動が継続していく。そのような姿を思い描いて、まずは小さな範囲から活動を開始しています。

団体名のミモザは春先に黄色い花をつける樹木で、愛情、友情、思いやりなどの花言葉があり、世界女性デーのシンボルでもあります。また、URLの3rd-place-minosana.netには皆ごっつて家庭でもない、学校・職場でもない居心地のいい第3の場所となってくれるようにとの思いをこめました。

また歩き始めたばかりですが、どんなことをやっているかな？と覗いていただけでも嬉しいですね。

濟々覺応援団、 伝統のバトン

濟々覺応援団OB会副会長

上西川原 淳（H2）

野球場のスタンドには、黄線帽に学ラン、白手袋姿できびきびと演武をする応援団の姿があった。米国から帰任し昨年9月から熊本で働き始め、球場に何度か足を運んだ。濟々覺野球部の試合はもちろんのこと、気になっていた応援団の様子を知りたかった。

そこでは第67代目の中山愛那団長と荒川佳音、尾崎夏花、上西川原想の各団員・マネージャーが濟々覺勝利へ一致団結。演武や振る舞い、盛り上げ方など、第36代



1989年、大運動会で、筆者（左から2人目）

団長として厳しい目で見ているが、応援団が残ったことは感慨深い。

2021年度の初め、団員は当時3年生の植田清翔第66代団長1人のみ。2年生も新入生もいないと駐在中の米国で知り、交流サイト（SNS）で同窓生に訴えた。応援団が途絶える可能性が出てきた。関心ある現役生を紹介してほしい。アメリカで何もできない自分が歯がゆい。

私は1年生の途中で入団。2年生で米国内に1年間留學後、一つ下の学年に復学すると、その代の団員不在を理由に団長となってしまった。2学期の初登校日はアメリカンなはずの私は夏なのに破帽、学ランにげた履き姿。新しい変なクラスメートに戸惑いが広がるのは自然なこと。受け入れてくれた（と思う）現在の平成



2022年、筆者（左）と応援団＝県営八代野球場

飾り石 の返還

斯道文庫

清田 康之（S47）



飾り石、横25センチ、縦30センチ、厚さ7センチほどの大きさ

よう」とは思いました。が、「盗ってこよう」という意識は全くありませんでした。

濟々覺に、斯道文庫と呼ばれる図書室として使われた建物がありました。昭和46年だったと思いますが、その斯道文庫が解体されることになりました。古臭くはありましたが、建物はそれなりの風格でしたので、「壊さんでもよからたい」と思いつつ、解体現場の脇を通ると、粉々になった瓦礫の中に、恐らくは外壁の柱の上部を飾っていたと思われるギリシャ建築風のきれいな石（コンクリート）が転がっていました。

その時に「これは捨てるには勿体ない」という思いが沸き起こって来て、クラスのU君に話したら、「どうせ瓦礫で捨てるものだし、取っておくか」ということになり、2人で現場から同じような石を2個拾って来て、それぞれ家に持って帰りました。解体現場は今のように安全のために扉で囲ったりはされておらず、容易に入れましたので、「取ってこ

とになり、（また、仮に窃盗罪で指名手配されていたとしても、もう時効だろうと使われていた歴史があります。そのこともあってか、昭和20年7月に米軍の空襲を受け、本館とこの斯道文庫他数棟を残して覺舎の3分の2が焼失してしまいました。その悲惨な戦火を潜り抜けて生きてきた建物を偲ぶ縁を残しておいて良かったと思っています。

因みに、同じ頃、本館のすぐ裏手にあった赤レンガ造りの奉安殿も解体されました。奉安殿とは戦前に各学校に造られた天皇・皇后両陛下の御真影と教育勅語を納めた小さい建物です。たまたま居合わせた金津安貞先生に「勿体ないですね」と言ったら、「これも時代の流れだけかなあ」と寂しそうに言われたことを覚えています。あの時、レンガ片の1つも保存しておけばよかった、と悔やまれます。

2（1990）年卒の心は広い。今も覺歌とエールを任せれば演武は真剣。歌う面々からも誇りを感じる。

だから、新入生が覺歌を強制的に歌わせられたなどとして訴訟になったニュースを見た時はショックだった。何とも嫌な響きの「シメ」と、一緒に呼ばれていることも初めて知った。請求は棄却された。ただ「濟々覺はそういう学校だ」として、訴えた側を簡単に批判することは少なくとも私にはできない。一生懸命勉強し、夢見て入学した現役生の姿と重ね合わせ、辞めざるを得なくなった心情を思うと、つらい。一方、現役生には伝統への誇りを失ってはほしくない。

新型コロナウイルスの流行で、応援団の活躍の見せ場も激減。現役団員は声も出せず、思うような応援もできず、必死



（左から）上西川原（想）、上西川原（響）、尾崎、高濱、荒川、中山



5月4日、吹奏楽部定期演奏会での演武＝県立劇場



NPBを目指す若武者 夢を掴め!

大分B-リングス 川原 雄大 (H30)

夢に向かって突き進む若者の目と顔はやはり違う。光り輝いている。今年から大分B-リングス(プロ独立リーグ)に所属し、3塁手として活躍している川原雄大選手だ。

5月だというのに気温が30度超えの真夏日、同窓会報作成プロジェクトチーム3人で藤崎台球場へ試合観戦に行った。対火の国サラマンダーズの3連戦、最後の日だった。川原選手は3塁手、5番打者で出場していた。1回表、走者1、2

塁でいきなりセンター前にクリーンヒットを放ち、先制点を叩き出した。この日はさらにヒットを重ね4打数2安打。3連戦で連日の2安打を放つ大活躍を見せた。打率も3割5分7厘だったから多分6分台に乗せたはずだ。

試合後に母覺野球部の大先輩にあたるサラマンダーズ社長・神田康範氏(H12)とグラウンドでがっちり握手し「頑張ってるね」と労いと期待の言葉をかけられていた。実は神田社長、川原選手にとっては大分B-リングスへ進む恩人と言っている。川原選手が筑波大を卒業しサラマンダーズの試験を受けた、が落ちた。そこで神田社長が大分B-リングスへの道を開いてくれたのだ。岐路に立った時、人生には必ず出会いがあるものだ。母覺野球部の先輩、後輩の関係ばかりではないはず。川原選手の希望に満ちた輝きを見逃せなかったに違いない。



藤崎台球場で試合後に火の国サラマンダーズの神田康範社長と互いの健闘を祈って握手(写真=吉田光一郎・H3)

出会い他にもある。大分B-リングスに入ると内川聖一選手が入団してきたのだ。セパ両リーグで首位打者に輝いた大打者。WBCではあのイチローと組んで世界一を目指した経験もある選手。もちろん教えを乞ったのは言うまでもない。「打撃の基本に心構えなどすべてを教わっています。それからヒットも打てるようになります。今があるのはすべて内川さんのおかげです」とキッパリ言い切る。そして「いずれは郷土のチーム・サ

ラムンダーズに加わり、NPB(プロ野球)を目指します」と目を輝かせる。独立リーグとはいえプロの水は厳しい。大分、宮崎、熊本、そして福岡と股にかけてのバス移動は、若さがあっても辛いものがある。でも自分で決めた道。「もっともっとヒットを打って、リーディングヒッターになりたい」と今年の目標を掲げる。そんな川原3兄弟の末っ子に声援、応援する人は多い。この日もスタンドで静かに見守っていた母親をはじめ多くのファンが背番号「22」に期待の目を向けている。いずれプロ野球選手の仲間入りを果たし、その輝きを放ってもらいたいものだ。子どもの頃から憧れた落合博満氏(三冠王)に一步でも近づけるように…。

(鷺頭英司・S41)

(鷺頭英司・S41)



セリーグのマウンドで 仁王立ち

阪神タイガース
大竹 耕太郎 (H26)

© 阪神タイガース

写真提供=サンケイスポーツ

昨年12月に日本プロ野球(NPB)で初開催された「現役ドラフト」で、正に「大ヘンシン」を遂げたのが、阪神タイガースに移籍した大竹耕太郎投手だ。済々堂の2年夏と3年春に、母覺を甲子園に導いた、あの左腕。早稲田大を卒業するとソフトバンクに育成選手として入団。これまで1軍での成績は10勝9敗していたが、2軍生活が長かった。そんな大竹に白羽の矢を立てたのが、阪神球団の幹部。「ファームで良かったという情報が入っていたし…」という。今年から指揮を取る岡田彰布監督も早稲田大出身という偶然も重なり、躍動する条件も揃って来た。元々、抜群の制球力があり四死球はほとんど出さない。高校時代の大竹選手を何度も見て来たが、3ボールにしても四球は決して出さない投手だった。それが投手としての生命線で、160キロを超える投手とはまた違うところだ。ソフトバンクでは同じ早大出の和田毅投手に体力強化をアドバイスされ、今では体重も20キロ増え、ベスト体重は90キロ。球威も次第に増しており球速も140キロ超え。



(鷺頭英司・S41)

写真提供=サンケイスポーツ

関西が熱い!



目が離せない人達だろう。甲子園のスタンドに、大竹投手が先発するたびに「黄色い軍団」が出来ている。それも次第に人数が増え続け、今では20人をはるかに超すまで膨らみ、熱い声援を送っている。関西のスポーツ紙が取り上げたほどで、その熱気は阪神ファン顔負けだ。うだ。この様子を知らせてくれた高比良光洋氏(H3)によると、「大竹投手が投げる日は必ず『黄線軍団』が1塁側スタンドに出来てますよ。甲子園球場と大竹投手ピッチリ合ってるし、高校時代に帰って盛り上がりつつあるのでしょね。ボクを含めて、これからの大竹投手の活躍が楽しみです」と嬉しい悲鳴を上げた。この勢いそのまま投げ続けると大竹投手は、セパ12球団から勝ち星を上げるかも知れない。どこまで勝ち星を伸ばしてくれるか、ファンの一人として楽しみは尽きない。

多士 濟々

天地万象皆わが師
進まん理想の目標に

福沢諭吉の故郷で福沢の研究に取り組む

中津市歴史博物館学芸員 松岡李奈さん（H22）

大分県北部に位置し、福岡県と境を接する中津市は、慶應義塾を創設した福沢諭吉（1835～1901年）ゆかりの地だ。大坂の中津藩蔵屋敷で生まれ、1歳半で父が没して中津に帰り、蘭学を学ぶため長崎に出た19歳まで過ごした。そ



「不滅の福沢プロジェクト」のポスターを紹介する松岡さん

の後も英学校の中津市学校を設立するなどした。市内には、福沢諭吉旧居（国指定史跡）や福沢記念館がある。松岡さんのもう一つの肩書は慶應義塾福沢研究センター客員所員。済々堂当時から、歴史に関係した仕事に就きたいと願っていた松岡さんは、人吉藩主・相良家に伝来した「相良家文書」（国指定重要文化財）を所蔵している慶應大に引かれ、進学した。

学部生の時に、福沢の足跡を巡るツアーに参加して初めて中津市を訪ねた。大学院に進んだのちも、毎年のように中津を訪ね、つながりを深めた。その中津市に2019年（令和元年）、歴史博物館がオープン。地元から近代史や慶應義塾に専門的な人材の派遣要請があり、松岡さんが福沢研究センターの推薦を受け、任用された。

福沢や近代史を研究するとともに、その成果を生かし、福沢に関する資料を公

開する企画展を実施している。これまでに開催した「福沢諭吉の書」展（2020年）では、手紙や原稿、漢詩など福沢が残した書を通して、新たな一面を探り、「華麗なる福沢家の人々」展（2022年）では、福沢の日常や家庭での姿、家族像にスポットを当ててみるなど、「すぐく多角的な人物」と評する福沢の人物像や功績を紹介している。

7月29日から9月18日まで開かれる今年度の企画展は「福沢諭吉とお札」に選ばれた偉人達。1984年（昭和59年）から1万円札の顔だった福沢は来年、実業家の渋沢栄一に交代する。新旧の顔2人は親交があった。そして、千円札はペスト菌の発見で知られ、不遇な時代に福沢の支援を受け、のちに慶應に開設され

事業承継 ～地域経済の持続性を支える新たな担い手として～

一般社団法人リーダーズ理事長 吉田光一郎（H30）

2016年の統計によると熊本県に存在する企業は4万8千社ほど。このうちの99・9％は中小企業、85％あまりは小規模事業者です。そして、中小企業の経営者の平均年齢は62・5歳（2020年統計）となっており、この経営者の高齢化問題、それに伴う後継者問題は喫緊の社会の課題です。社会の一員としてし

かり機能している会社ももし後継者不在という理由で廃業してしまえば、それはそのまま社会的損失となります。熊本のような地方では大企業が少なく（わずか62社）、若い人材の県外への流出もあるため、後継者不在というのは特に重大な問題です。

ところで熊本市内にお住まいの方は、赤地に「LEADERS」と書かれたラッピングバスをご覧になったことはな



熊本市内を走る「LEADERS」のラッピングバス

いでしょか？ この「リーダーズ」は会社の後継者不足を解決すべく、(株)南星が立ち上げたプロジェクトで、後継者候補となる人材育成、後継者候補と後継者を求める企業とのマッチング、その後の承継プロセスへの伴走による経営支援を包括的に志向しています。そして、このプロジェクトに賛同して集まり、一連の育成課程を終えた後継者候補が、来るべき時に備えて相互に研鑽する組織が「一般社団法人リーダーズ」です。いわば後継者候補の人材プールであり、その理事長を吉田（H3）が務め、森紘宇さん（H22）が理事となっています。

リーダーズプロジェクトでは実際の企



左から南星の宮部社長、山田マネージャー、森さん（H22）、吉田さん

業事例を研究したり、現役の経営者の方のお話しを伺ったり、あるいは経営等のセミナーを受講したりといった活動を通して経営感覚を磨き、また人脈の拡大等につとめています。

最終的なメンバーの到達目標は、一人一人が継ぎたいと思う会社に出会ってその後継者として会社を存続、発展させていくことです。それだけではなく会社員として働くことと並行して経営を学ぶことで、後継者となる準備としてだけでなく、日々の仕事に新たな視点を持ち込むという、別のメリットも感じています。このプロジェクトがスタートしたのは2018年、これまで3期の後継者候補を募集し、現在14人が来るべき事業承継に備えてリーダーズに所属しています。

2022年にはリーダーズのメンバーの一人が実際に後継者として社長に就任し、また2023年には別のメンバーが後継前提でその会社に入社するなど、徐々に後継者不在の会社を継ぐという実績が生まれ始めています。このプロジェクトに賛同し、後継者を求めて実際に登録している企業も10社近くになりましたが、冒頭にありますよう

国際細胞学会特別功労賞を受賞

熊本保健科学大学 医学検査学科教授・医学博士 南部雅美（S22）

振り返ると、私の人生を左右する大きなイベントが2つありました。

1つ目は細胞との出会いです。臨床検査技師として福岡大病院の病理部に就職した私は、細胞検査士及び国際細胞検査士の資格を取得しました。細胞検査と

は、病理検査の1つで、剥離した細胞を観察して病変を判定する検査です。幼少の頃から絵を描く事が好きだった私は、様々な細胞が奏でる光景に魅了され、何時間も顕微鏡で細胞を眺めることがしばしばありました。そして様々な症例を経験し、学会発表や論文を執筆するようになりました。



第21回国際細胞学会にて特別功労賞を受賞。台湾の細胞検査士 Jen-Sheng Ko 氏と南部さん（右）（本人提供）

2つ目は31歳の時に職場の健診にて結核と診断され、7か月の隔離入院を強いられた事でした。この辛い経験から学んだ事は、明日という日は約束されていない、やりたい事は先送りす



米国・メリーランド州ボルチモア インナーハーバーで南部さんと夫人の幸恵さん（本人提供）

ミナーで私は、国際的に羽ばたくことを夢見る若手細胞検査士の育成に努めました。これらの業績が認められ、この度、国際的に細胞学の教育、研究、奉仕に生涯を捧げた細胞検査士から毎年1名に贈られる International Cytotechnologist of the Year Award を、昨年の11月、アメリカのボルチモアで開催された第21回国際

興味を抱きアタックすることを大切に

あらし循環器内科院長 荒木春夫さん（S41）

奮門を出て三軒町通りを南へ向かうと、やがて薬園町の交差点に差し掛かる。その対面する角に、あらし循環器内科がある。経営するのが、荒木春夫医師と薬剤師で妻の静子さん。二人は済々黈、昭和41年卒の同期生でもあり熊本大学の医学



荒木さんと夫人の静子さん。共に昭和41年卒

細胞学会にて受賞致しました。追記 日本においても6月9日、臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発・向上に努力しその領域の発展への指導的役割および人材育成に貢献のあった実務者（技師）に贈られる「第42回福見秀雄（元長崎大学学長）賞」を受賞しました。

「家から学費まで約16万円を毎日、自転車通学しました。だから足腰の強さには自信があったと思います。剣道部では石原勝利先生（後に範士八段）に仕込まれました。同期の八尾徳久君は飛び抜けて強く、1年生からのレギュラー選手でした。彼らは毎日道場で稽古でまました。自分のような弱い部員は道場での稽古ができず（部員が多すぎたため）、立田山へ走らされたことを思い出します。人一倍の努力が実って3年生になってレギュラー選手にもなりました。桜花が描かれた胴と、黄紐で締めた面を付け、玉竜



喜秀会秋季大会で枕慈童を演じる荒木さん

るな、でした。以前よりやりたかった事とは、国際学会での学術発表でした。そこで退院してから3年間、第12回国際細胞学会（スペイン・マドリッド開催）に向けて研究と英会話に没頭しました。初めての国際細胞学会での英語による発表は、かなりのストレスで、妻から私が寝言を英語で言っていたと聞かされました。そして迎えた発表の本番ですが、自分でも思った以上に上手くいき、今まで感じたことのない至福感の中で見上げたスベインの真っ青な空が今でも忘れられません。

それからというもの国際細胞学会で発表を重ねているうちに、日本臨床細胞学会細胞検査士会の国際委員長を拝命し、日本・台湾・韓国細胞検査士合同セミナーを立ち上げることができました。そのセ

く似ている。常に摺り足で進み、そして床を蹴る。昨秋に開かれた狩野秀鵬七回忌追善・喜秀会秋季大会を、筆者も県立劇場で初めて拝見させてもらったが、幽玄の世界をほとんど感じられずに会場を後にしたものだ。その時、荒木医師は「枕慈童」を演じたのだが、約40分間両足の運びばかり見ていたのを覚えてい

ば……という信長の舞いは有名だが、荒木医師は「♪然るに平家 世を取って二十余年 真に一昔の 過ぐるは夢の中なれや」を好んで口ずさんでいるそうだ。話を伺っている間、よく見ると荒木医師ずっとバランスボールに座っていた。何にでも興味を抱くこと。そしてそれにアタックしてみることに。これが大事です」と最後に後輩たちにエールを送った。

（鷲頭英司・S41）

今も昔も、世のため人のため

森 三千雄さん（S37）

生まれ育ったのは、熊本市西区小島。農家の長男として生を受け、ビルマ戦線で戦った実父の影響もあったかもしれないが、愛国精神は人並以上だった。母費への自転車通学は毎日、往復40分。そのため部活動どころではなかったという。たまに寄る県立図書館で本のページを捲るのが楽しみで、あとは家業の手伝いと勉強に明け暮れる3年間だったとか。

「今ではすっかり少なくなりましたが、私らの時代はクラスの中だけでも防衛大に進学した生徒は5人も居たものです。県下でも最も多い進学校だったし、自分でも防大への道を迷いなく選んでいた。キャリア組として入隊し、陸上自衛隊の最後は、大分県との県境にある玖珠駐屯地の19代司令官まで上り詰めた。56歳で退官するまでの34年間、国を護る」としか頭になかったそうだ。その精神と



もうすぐ80歳になるがこの24年間は、世のため人のためをモットーにボランティア活動に暇がない。「防衛を支える会」をはじめ、自衛官のOBで作る「隊友会」の参与などなど。小峯墓地や花岡



平成11年の退官式で長女と（本人提供）

山公園の清掃に、江津湖でのミスアオイの育成は筆者も手伝わせてもらった。絶滅危惧種でその頃は福島県と熊本県で見かけるくらいだった。毎年9月の声を聞く頃に、下江津湖の散歩道を行くと、湧水の噴き出す流水の辺にミスアオイの薄紫の花が咲き乱れているはずだ。

3年間も続いたコロナウイルス禍にウクライナ戦争と、このところ暗い世相が続いているが、力強く生きるしかない。「北朝鮮のミサイル発射もあるが、日本として抑止力は備えておく必要があると思う。対話することが大切だけど、言うだけでは……ね」と、長年培ってきた眼を光らせる。そして憲法9条の成り行きにもじっと目を凝らしている。

（鷲頭英司・S41）

令和5年 春季済々黈英霊追悼式

「令和5年春季済々黈英霊追悼式」が、5月21日午前10時30分から多士会館2階の「英霊鎮魂碑」前で行われた。英霊顕彰済々黈有志の会（野口敏夫会長・S38）が毎年、春と秋に開催している。国歌斉唱した後、「映像で偲ぶ先輩英霊達」の日清、日露戦争の生々しい上映があり、春木秀紀宮司（S63）による修祓、斎主一拝、招魂、献饌、祝詞奏上、祭文奏上などが取り行われた。続いて賛歌と「海ゆかば」を斉唱し、玉串拝礼に移った。

第二部の総会では野口会長が「今後もしっかり受け継いで行きたい」と述べ、賛長（代読）らも挨拶。遺族を代表して広島市在住の寺岡節さんが「いつもこの様な追悼式を開催してもらい、その度戦争で散った先人達を思い返しています」とお礼の言葉を述べた。

第三部では諸熊弘毅氏（S47）が「堀内豊秋大佐に学ぶこと」と題して卓話。最後に平野正憲事務局長（S40）が閉会の挨拶をして約2時間に渡る「慰霊祭」を終了した。

なお、有志の会では昭和3年、6年、17・21年の済々黈卒業アルバムを探している。お心当たりの方は、多士会館までご一報を。 （鷲頭英司・S41）

済美展

昭和49年卒の美術部OBが現役の頃に済美展の話先輩の部員から聞いていたので、創設は昭和40年代か。熊本の美術界を長年に渡りリードしてきた春口光義実行委員長(S26)のもと、同窓生による美術愛好家の親睦をはかる目的で他校に先駆ける作品発表の場として済美展は始まった。長く開催が中断されていたが平成になって再開。当初は美術だけの展示であったが、現在は写真や書など広く展示を行い、愛好者の親睦、作品発表の場を提供している。以前、済美展は現役の生徒の作品も展示されていたが現在済々黌には美術部が無いそう。

今年5月には熊本県立美術館分館において4年ぶりに開催。故人2人を含む34人が絵画の他、立体、写真、書道など42点の展示を行った。現在は約50名の会員がいる。

済美展は来年も5月に開催が決まっております(24年5月21日～26日・熊本県立美術館分館)、コロナ禍での中断もあったのでより多くの方の参加や観覧を待っている。特に同窓生に呼びかけ若い卒業生にもっと参加してほしいとのこと。また会期中は県立美術館分館まで足を伸ばしてもらい同窓生の作品を集めたすばらしい展示をぜひ観て欲しい。



問合せ
連絡先 事務局：田内康敬(S44)
電話：090-1342-8277
E-mail：tauchi@kyf.biglobe.ne.jp

済々黌飾馬奉納団 絆

かつて同卒年生が卒業後に初めて団結し行う催しが藤崎八幡宮例大祭の担当学年だった。

各クラス幹事を中心に顔を合わせ、まずは消息確認、連絡先調査を進める。徐々に連絡網が整備され久しぶりに会うなつかしい顔が増えていく。そして会合を重ねるうちに同窓生の絆が大きく強まったことは間違いない。

そんな同窓会による例大祭への奉納は1993年に終了。2004年、再び卒業生同士の強固な「絆」を作るため、有志による済々黌飾馬奉納団を立ち上げた。前回奉納時は約200名の参加があった。

9月中旬の奉納に向け夏前から練習開始。また夏休み期間は済々黌武道場にて練習。

参加資格は特に無く随時募集中。今年は3年ぶりの奉納、興味のある方はぜひご連絡を。

「祭を通じて済々黌の絆を取り戻しましょう！特に、大同窓会幹事学年で苦労したH11～16卒、コロナで高校生活を制限されたR3～5卒の皆さんの絆づくりに役立ちたいです。多くの方の参加をお待ちしています！」
※R3～5卒は参加費無料！(人数上限あり・先着順・詳しくはHPにて)



問合せ
連絡先 事務局：荒川H3・和田H7・野田H17・山田H21
連絡先：seiseikoukizuna@gmail.com
H P：http://seiseikoukizuna.web.fc2.com/
Facebook：済々黌飾馬奉納団絆

済々黌を卒業してから長い同窓生ライフ。「遠くの親戚より近くの同窓生」と言われるほど友好的で親密な同窓生同士。そんなキナセンの絆のもとに繋がる同窓の皆様の活動を「キナかつ」と名づけました。

運動部文化部を問わず同じ部活のOB・OGが行っているスポーツ大会、展覧会、音楽会、講演会、研究会、同好会、親睦会などの活動やイベントを紹介するコーナー『キナかつ～かたらんな』を新設しました。毎号掲載していた飾馬奉納団の記事も今号よりこのコーナーに掲載します。(同窓会自体が主催するサークル活動やイベント、地区同窓会や職域同窓会の活動は別項あり)

紹介してほしいサークル活動やイベントなど情報をお寄せください。長い同窓生ライフをさらに楽しんでいただくことを願って。
会報作成プロジェクトチーム 担当：島田 等(S49) メール：hitshimd1955@goo.jp

済々写友会

済々写友会は写真部OBのサークルではない。同会の荒木哲美会長(S33)は、在黌中は写真部だったかという問いに、当時は写真部どころか「高校生で自分のカメラを持っている人はいなかったと思います」と笑って答えた。

十数年前に同じ昭和33卒年の同窓生と80歳で解散する予定で写真愛好家グループ「燦燦会」を立ち上げる。その後、他の年代の同窓生にも広く会員を求めることとなり、2019年2月に「済々写友会」を設立した。

会員資格は済々黌卒業生・在学生および現職職員の写真愛好家。写真を通じて会員相互の親睦と写真の制作力向上を図り、生きがいのあるサークル活動を目的としている。

具体的な活動としては、年1回の作品展と親睦会、随時で撮影会や研修会を開催している。会員数は30名(23年4月現在)。昨年11月には在黌生の写真部も参加して3回目の写真展を県立美術館分館ギャラリーで開催した。また今年5月に開催の済美展にも10名の会員が出展した。

「景色、祭り、花などをレンズを通して見て撮影し、楽しめる仲間と生涯遊べたら」と話す荒木会長は新たな会員を求めている。今年も第4回済々写友会写真展を8月29日(火)～9月3日(日)に県立美術館分館で開催する予定。



問合せ
連絡先 事務局：桑山俊光(S34)
電話：090-8913-9030
E-mail：qqwh9kp9n@star.ocn.ne.jp

済々黌同窓生のクラブ活動!?

キナかつ ～かたらんな

碧落アンサンブル

碧落アンサンブルは、済々黌吹奏楽部の部員が卒業後も一緒に演奏してコンクールに参加すると共に飲み会を楽しむ機会を得るために済々黌OB碧落アンサンブルとして1980年に設立された。当初はコンクールに参加するだけだったが、90年からは毎年定期演奏会を開催し、2003年の第11回定期演奏会より団名を碧落アンサンブルに変更。今年2月の演奏会で31回を数える。現在は済々黌の卒業生に限らず幅広く団員を募り、三浦克洋代表(S55)のもと約45名(23年5月現在)の団員がいる。

参加資格は打楽器以外は楽器を所有し、楽器の初心者では無いことと基本高校卒業以上であること。主な活動は定期演奏会の開催、吹奏楽コンクールや一般吹奏楽団協会合同音楽祭への参加、その他に日本各地で行われる済々黌同窓会にて、吹奏楽部卒業生と賛歌の生演奏を行ったり、区切りとなる現役の吹奏楽部の定期演奏会で共に演奏することもある。

「吹奏楽を楽しむために幅広い年代にわたって一緒に演奏をしています。昨年と一昨年は吹奏楽コンクールで熊本県代表となり、九州大会に出場しました。練習では奏者の間を子どもが走り回るなど、アットホームな雰囲気です。各パート募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。吹奏楽部卒業生の皆さん、大歓迎します」

第32回定期演奏会は24年3月17日県立劇場コンサートホールで開催予定。演奏が出来ない方も生のコンサートで迫力ある演奏を楽しんではいかがでしょうか。



問合せ
連絡先 事務局：事務局長・四方田亨二(H4)
電話：090-4585-7453
E-mail：yomotorou@gmail.com
H P：http://www7.plala.or.jp/hekiraku/

済々黌多士黌流会 第10回記念大会

～黌友の黌友による黌友のための集い～

- 開催日時：令和5年8月19日(土) 17時開会
- 実施会場：鶴屋ホール(鶴屋東館7F)
- 第一部：基調講演 中山峰男氏(S41年卒) 崇城大学学長
- 第二部：懇親会(アトラクション/チャーリー永谷氏(S29年卒) ライヴ)

【大会のコンセプト】

- ①同窓生で創る各多士会の連携と情報交流・親睦、また各界・各業種の同窓個人の参加に対するの門戸を広げ、それを受け入れる集とする。
- ②若い同窓生の新たな社交、情報取得となるステージの提供と同窓各年齢を超えた新たな出会いと絆を重視した集とする。
- ③愛黌とビジネスを中心とした、個人・各団体の資質向上と、真に豊かな社会創りに貢献する集とする。

参加申し込み・ホームページ：https://tashikouryukai.web.fc2.com/ 問い合わせ：岩崎光(S50) / 090-8419-2620

黄線今昔

同窓生の今と昔をご紹介——同窓生の語り場
各学年から近況・学年自慢、
名物同級生、各種情報を
お寄せ頂きました。



総会・懇親会を開催

昭和36年卒 (さぶろく会)

令和5年3月6日(月)、済々
覺昭和36年卒業の『済々覺
三六会』の総会並びに懇親会
を、熊本メルパルクにて行い
ました。コロナ禍で3回、中止になって
いましたので、久しぶりの会になりました。
41名の参加で、楽しい会合でした。
前回は、午後7時からでしたが、80
歳になったので、夕方からは、暗くて



危険との意見で、午後2時開会に致しま
した。総会は20分で終了。(ご来賓もなく、
報告する事もありません。)

早速、コロナに留意した、豪華な弁当
形式の懇親会が始まりました。午後4時
30分までの楽しい時間でした。そして、
済々覺三六会は、来年もまた、3月6
日(水)に行う予定です。ところで、今
までの年会費等の繰越金をどうするかが、
クラス幹事会の懸案でしたが、世話役が
生きているうちは、使いきれないとの事
で、その一部を永遠に続く、済々覺同窓
会にご寄付申し上げる事に、皆、賛同し
ました。そして、学年代表評議員の井山
昭伸君を通して、同窓会会長にお渡しす
る事に、決定致しました。

母費、済々覺同窓会のご発展を、心よ
り祈念申し上げます。
(三六会会長 城本 敬一郎)

昭和37年卒 (さんなな会)

総会4年振りに開催

新型コロナウイルスの影響
で3年間に中止になりました
済々覺三七会総会が、紺碧の
空に爽快な風が吹く5月8日



(月)4年振りにやっと開催することが
出来ました。出席者は79名。遠路熊本県
以外から18名の方が出席されました(東
京・横浜・千葉・愛知・大阪・姫路・広
島・福岡・長崎・大分)。そして、当時
の『済々覺のお三方の揃い踏みで、本
席に華を添えて頂きました。本来なら富
田健一先生も出席して下さるはずでし
た。先生は今年10月に97歳の誕生日を

迎えられます。今後お元気で生活して
いただきたいと思います。
さて済々覺は昨年創立140周年を迎
え記念事業として桜の植栽が20本限定で
募集があり、三七会も応募しました結果
19番目に当選しましたので「19番桜、済々
覺三七会」と命名されました。場所はグ
ラウンドの南側に昨年2月に植栽され、
今年の春はピンクの綺麗な花を咲かせて
くれました。もう一つの事業として、同
心学舎が改修され周りの三綱領石碑・行
幸記念碑・忠烈の碑も綺麗に磨かれ一帯
が公園化されています。正門右側の佐々
友房先生の銅像、左側の井井経平先生の
銅像も綺麗に蘇っています。

今年の総会は、卒業60周年がコロナで
1年遅れて開催され、記念イベントとし
て古賀政男記念館の音楽隊(8人)によ
るアンサンブル演奏で賑わいました。東
京ラフソディに始まって「高校三年生・
学生時代・甲子園で歌われる栄冠は君に
輝く・誰か故郷を思わせる等々」の後
「済々覺歌」を中島邦元副団長のリー
ドで締めくくり、音楽隊のエンディング
曲・丘を越えてを流しながら記念総会・
懇親会を終了し三々五々解散しました。
なお、令和4年度済々覺同窓会費を46
名の方が、多士会館維持費を44名の方が
納めていただき誠に有り難うございまし
た。(三七会会長 入江昭雄)

昭和41年卒 (よんいち会)

同窓会盛大に!!

今年5月21日に4年ぶりに
済々覺大同窓会が熊本城ホー
ルで行われた。それに合わせ
同日、午後6時から41会(S
41)同窓会を、熊本市内銀座通りにある
ラウンジ「ブルーレ」で開催した。

丸3年にも及ぶコロナ禍でなかなか顔
を合わせることができなかったが、この
日は全国から19名が集い、久々の顔合わ
せとなった。遠方ではハワイから、また
福岡市からと遠路を借します参加し在費
時の想い出話に花が咲いた。
久しぶりの対面で1人ずつ
自己紹介を含めた近況報告



4年ぶりに開かれたS41会・同窓会。ハワイからの参加を含めて
19名が参加した=5月21日・熊本市内の「ブルーレ」

昭和46年卒 (よんろく会)

古希同窓会と母費創立 140周年記念銀杏

昨年10月に予定した古希同
窓会は、コロナ再拡大の影響
で延期を余儀なくされ4月8
日(土)に実施した。
当日、遠くは山形県からの参加者を含
め81名の同級生に加え、米寿を迎えられ
た竹原崇雄先生にも特別に出席していた

では、後期高齢者の仲間入りした令和5
年は「喜寿」とも重なり、挨拶のほとん
どが持病との奮闘中とか経験談が目立つ
2時間半だった。面白い話題といえば、
今年現役ドラフトでソフトバンクから
阪神球団に移籍した大竹耕太郎選手(H
26)の大活躍だ。「もうすっかり阪神ファ
ンの仲間入りしたよ。六甲おろし」を
毎日歌いまくっている」とマイク片手に
歌い出し、しばらくは全員で応援をかね
て「六甲おろし」の大合唱になった。ち
なみに大竹選手は5月27日現在、6勝0
敗(防御率0.40)のセリーグトップの
好成績を上げている。ウワサによると甲
子園球場では「黄線軍団」も現われ、大
竹登板日には大変な盛り上がりを見せて
いるそうだ。
「喜寿」の祝いも兼ねた今年の41会は
最後に賛歌斉唱と万歳三唱で締めを終了
した。(驚頭 英司)



祝 古希

だき総勢82名での同窓会となった。
会に先立ち、鬼籍に入った48名の同級
生に黙祷を捧げた。

会では、冒頭竹原先生による「同心会
の成り立ち」について特別授業があり、
米寿を迎えてもなお教え導く熱血の姿に
変わりは無かった。同級生の中には、半
世紀ぶりに再会する友もおり、2時間の
懇親は50年の空白を埋めるにはあまりに

も短かったものの、旧交を温めながら若
き日にタイムスリップ、今後の自分自身
に向けて更なる元氣と糧を飛ばしている
ようでもあった。
最後は、人生100年時代に向けて喜
寿での再会を期し閉会した。
時を同じくして、同窓会では母費の創
立140周年を祝う記念行事が各種実施
され、その中に母費の歴史を長年見つめ
て来た樹齢70年の銀杏が伐採され違った
形で復元されることを知った。

年齢70歳、樹齢70年の銀杏、米寿の竹
原先生は、ご存知の通り母費の「ミスター
三綱領」とも呼ばれる名物恩師、これら
を助案し、先生には、伐採された銀杏の
木に三綱領が彫られた扁額の裏に四六会
からの米寿祝いを刻印し贈呈、出席の同
級生にはキーホルダー用木札を、それぞ
れ記念品として持ち帰って貰った。

コロナ禍で延期となった古希の集いで
はあったが、結果として母費創立140
周年記念行事とも相俟って、参加者の思
い出に残る同窓会となった。

(古希同窓会実行委員長 田島 朋直)

昭和48年卒 (よんぱち会)

卒業50周年を迎えて

私たち48会は昭和48年
(1973年)3月1日に済々
覺を卒業しました。本年11月
2日には卒業50周年記念の学

年同窓会を行います。私たちは日本の高度成長期に育った世代でもあります。小学校でシラミ退治と称し頭にDDTの白い粉をかけられました。小4の秋に東京オリンピックがあり、小5の社会見学で福岡にツタンカーメンのマスクを見に行き、中3の夏にはアポロ11号が月に行きました。洛々費に入学した昭和45年（1970年）4月には大阪万博が開催中で、隣の熊大では学園紛争のさなかヘルメットと角材で武装した学生が警察の機動隊と衝突していました。私の場合在費3年間は特筆無く過ぎましたが、洛々費は卒業してからが面白いです。同窓会活動に参加するようになって先輩や後輩に多くの知り合いを得、いろいろな経験



をすることができました。大同窓会の幹事学年や藤崎宮秋季例大祭飾り馬奉納の実行学年を経て48会がぐっとまとまりました。その時汗を流した面々が学年評議員に名を連ねています。48会でもまだ現役で仕事をしている人もいますが、勤め人だった人の多くはリタイアしています。これからの第2の人生を消化試合ではなく有意義に楽しく過ごすことが目下のテーマです。「成功の反対は失敗ではなく、何もしないことだ」という言葉があります。体力や気力の衰えは認めざるを得ませんが、それでも新しいことに挑戦して毎日日々は好日で過ごしていきたいと思っています。

（代表評議員 白石正治）



のエルで全員肩を組み元気気で賛歌斉唱。来年の卒業50年の会に向け、気持ち新たにしました。

昭和49年卒 （よんきゅう会）

同窓会開催

令和5年4月15日（土）、52名の参加者で「洛々費四九会同窓会」を開催いたしました。岩永宣治49会会長の挨拶、物故者への黙祷の後、久我彰登商工会会頭の乾杯で卒業49年目の同窓会が始まりました。

遠来の林田英二君（名古屋）、松田享君（大阪）の近況報告をかわきりに多くの同窓の話聞きながら、全員18歳の自分に戻って大いに盛り上がりました。丸本文紀君の締めの後、今井政文応援團長

昭和50年卒 （ごーまる会）

和気あいあい&爽快ツーリング

また、翌日16日（日）には恒例の49会ゴルフを開催。26名の参加で優勝は丸山稔君、ベストクロスは坂田淳一君でした。来年4月の49会は節目の年で、より多くの同窓と祝うことができるよう願っております。49会の皆様、来年の同窓会ご参加をよろしく！（49会 猪猡一郎）

50（ごーまる）会では、3年ほど前からバイク好きの仲間



間10人ほどが集い1〜2か月に1度、日帰りツーリングを楽しんでいる。その名前は、前期高齢者ツーリング集団「50（ごーまる）ライダーズ」と言っても、49年卒の先輩、51年卒の後輩、時に43年卒の大先輩の飛び入り参加もある、ゆる〜い集まり。サイドカー付ハーレーを売にうまく乗りこなすメンバーがおり、側車に50会のお嬢さんが乗って参加することもあり。最近では、助手席に50会OGを乗せた自動車班も参加する、和気あいあい&爽快・安全運転のリフレッシュ・ツーリングである。

行き先は、阿蘇・久住方面の人氣が高いが、鹿児島、佐賀、島原など隣県にも時々足を伸ばす。3月は千葉県在住の飯屋山和博君が初参加、阿蘇小国の蕎麦屋

で昼食を楽しんだ後、はげの湯温泉の露天風呂につかった。5月は同じく千葉在住の西田保幸君、福岡在住の山戸聖也君も加わり、熊本組9人（内女性2人）＋千葉組2人＋福岡組1人の計12人で新緑の阿蘇から通潤橋へと巡った。最近のニュースでは、故山下紀一郎君（加茂川元輔社長）夫人のみきさんが、一念発起して大型二輪免許を取得し50ライダーズに参加、華麗なライディングを披露しておじさん方を驚かせている。

昭和57年卒 （いなせ会）

2024年（令和6年） 祝還暦同窓会のご案内

S57年卒＝五七済会は、還暦を祝し、同窓会の開催をご案内します。

会の名称 五七済会 還暦同窓会
期日 2024年（令和6年）
1月2日（火）午後5時〜
場所 KKRホテル熊本
【追伸】
夏のプレ同窓会

平成15年卒 （いちこの会）

卒業20周年 学年同窓会

私たちが平成15年卒は、1月2日に4年ぶりとなる卒業20周年の学年同窓会を開催しました。コロナ禍のためやむなく欠席する同級生もいる中、無事開催することができたことをうれしく思います。

今回は、参加者が43名と人数こそ少なかったのですが、久しぶりに出席してくれた方や、実家が熊本にないにも拘らず東京から参加してくれた方もおり、洛々費の絆の強さを改めて感じる事ができました。また、終盤には、バイオリニストとして活躍している千葉裕之君のサブライズライブもあり、大盛会となりました。（千葉君は8月19日（土）に、くまもと森都心プラザホールにて凱旋リサイタルを開催予定です！）

来たる2024年5月21日開催の創立142周年洛々費大同窓会は、私たちが平成15年卒が幹事を務めます。これまで



中止されてきた懇親会も5年ぶりに開催となる見込みです。私たち平成15年卒は、途切れてしまった伝統を復活させ、次の世代に引き継いでいけるよう、一致団結して取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いたします！

（中島正善）

平成31年卒

平成31年卒 同窓会

コロナ禍で20歳を迎え、同窓会を開催できなかった私達でしたが、今回2年越しの同



形で楽しむことができました。済春話に花を咲かせることはもちろんのことながら、会えなかった2年間分の話が尽きず、終始大盛り上がりでした。やはり、時が経っても友人と会うと高校時代が思い出され、懐かしく感じるものですね。新社会人となるこの機会に集まることができ、大変有意義な時間となりました。次回集まる時には更にパワーアップした姿で会いましょう！最後に、この度ご支援頂きました済々黌同窓会の皆様、ありがとうございました。

(代表評議員 詫間 未悠)

令和3年卒 成人同窓会

1月6日に、令和3年済々黌高校卒業生による成人同窓会を開催いたしました。大盛況に収めることができました。

当時担任をいただいた重信敏久先生や林智貴先生にも御足労いただき、私たちの背中を押すような、心に響く挨拶を頂戴することが出来ました。また元生徒会長である西亮太君の乾杯の音頭のもと、皆様お酒を交わしながら思い話したりしながら、かけがえのない時間を過ごすことが出来ました。新型コロナウイルスが流行し始めて3年、現在は少しずつ対面活動が増え、より充実した大学生活を送る



祝 成人

ことができるようになってきました。新型コロナウイルスに高校時代の大切な思い出を奪われた悔しさを胸に、今を大切に、全力で楽しんでいきたいと思えます。この度は沢山の方に支援頂き、今回の成人同窓会が開催できたことを心から感謝申し上げます。済々黌高校が誇る卒業生となって恩返しができるよう、これからも精進して参ります。

(代表評議員 西富 みどり)



2023年1月2日、済々黌体育館での初打ち会

済々黌バドミントン部は、1960年代後半から愛好会、同好会と徐々に活動を積み上げ74年に正式に部になりました。全国大会出場といった目立った戦績はなく、練習場所の確保もままならぬ、いわば弱小運動部の一つでありました。愛好会、同好会時代には、練習場所の割り当てがなく、周辺校で練習していたと、当時の先輩方から伺っています。しかし、22年にはなんと運動部の中で部員数2位、文化系と合わせても部員数3位！体育館での練習も男女合わせて4面を使用!! 隔世の感があります。

OB会組織は98年に正式に立ち上がり、毎年1月2日に母體体育館で行っている「初打ち会」が最大かつ最重要イベントです。82年からほぼ毎年、昭和卒から令和卒、そして現役生まで交えて、シャトルを追いかけます(ハンデなし)。コロナ禍のため昨年、一昨年は休止、今年は3年ぶりに、「初打ち会」(4チームに分かれてのダブルス団体戦)を楽しみました。この初打ち会では、OB・OGの親交を深めるだけでなく、募った寄付をシャトル代として贈り、ささやかながら現役生への支援としています。

以前のOB会の実質的な目的は「とにかく毎年、母體体育館で初打ち会をやること」という、やや場当たりのものでした。そういった中、2013年も押し迫ったある日の宴の場にて、某先輩から「そろそろ50周年だから何かしなさい」とのお達し。しかし、その場にいた全員、今何年なのか分からず。そこから一念発起して諸手を尽くして調べ、部昇格の年が判明。翌年に40周年記念の会を開催、その5年後には45周年記念も開催することが出来ました。

そして来年24年。創部50周年の大きな節目を迎えます。来年初には盛大に記念イベントを行うべく、既に準備が始まっております。OB・OGの皆様、今後の情報にぜひご注目下さい。

(吉田光一郎・H30)

母學界は今



進路指導主事 篠塚 年洋

令和5年度の大学受験結果について

国公立大は東京大1名、京都大2名、一橋大2名、東京工大1名、大阪大9名、九州大35名、熊本大83名、熊本県立大24名など国公立大に301名が合格した。また、医学科については神戸大1名、大分大1名、琉球大1名が合格した。私立大では慶応大3名、早稲田大5名、中央大9名、同志社大18名、立命館大55名など491名が合格した。超難関大である「東京一工」に複数名、また医学科全体では5名の合格者を輩出することになった。

今年度の国公立大現役合格者数は204名であり、昨年度の実績に比べると少ないように思えるが、今年の出願状況をみてみると、生徒自身が本当に研究したい分野を調べて自分にあった大学を選択しているような印象を受けた。今年度は多士済々な生徒が多く、高校生クイズで準備する生徒や「ウニ」の移動方向

※東京大、京都大、一橋大、東京工業大の四大学を指す

を調べる研究」で文部科学大臣賞を受賞した生徒などが在籍し、それぞれ興味のある学問分野への進学を決めている。今春の卒業生は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入学式を運動場で行い、入学当初から分散登校により始めた。それにより済々黌生としての学校生活が地に足がつかないまま時間が過ぎていったようだった。わたしも職員も授業の動画配信やオンライン授業など工夫しながら、何とか生徒の学力保障のため日夜奮闘してきた。そのような環境の中、生徒たちも学校の指導についてきてくれる生徒同士励まし合いながら最後まであきらめずに取り組むことによって好結果をおさめてくれた。

今後の大学入試への対応について

令和7年度入試(現2年生)から新課程入試に移行する。まず大学入学共通テストが大幅に変更になるので、しっかりと準備が必要となる。大学入試センター試験から出題形式や内容が大幅に変更した「大学入学共通テスト」では問題文が豊富で試験時間内に終わらない現象がおきた。さらに今回の改訂で新たに「情報」という教科が課されることになったため、受験生にとっては只事ではないといったところだ。また学校推薦型選抜や総合型選抜の募集人員が増え、ペーパー試験による入試というより、学校での教

過去3か年の主な大学合格状況

大学名	年度 3			年度 4			年度 5		
	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計
千葉大	1	1	2	0	0	0	0	0	0
お茶の水女子大	1	1	2	0	0	0	0	0	0
東京大	2	3	5	1	0	1	0	0	0
東京外国語大	1	1	2	0	0	0	0	0	0
東京工業大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京学芸大	3	2	5	0	0	0	0	0	0
一橋大	3	2	5	1	1	2	1	1	2
横浜国立大	1	2	3	0	0	0	0	0	0
名古屋大	2	0	2	0	0	0	0	0	0
京都大	4	8	12	1	1	2	1	1	2
大阪大	9	18	27	7	2	9	2	1	3
神戸大	1	5	6	4	1	5	4	1	5
広島大	11	9	20	16	0	16	0	0	0
九州大	53	48	101	27	8	35	8	3	11
九州工業大	6	5	11	9	3	12	3	1	4
福岡教育大	3	5	8	2	1	3	1	3	4
福岡大学	5	6	11	2	0	2	0	2	2
佐賀大	5	6	11	2	0	2	0	2	2
長崎大	12	20	32	5	3	8	3	3	6
大分大	4	2	6	2	2	4	2	2	4
宮崎大	3	5	8	2	3	5	3	5	8
鹿児島大	20	18	38	20	5	25	5	5	10
琉球大	2	0	2	0	1	1	0	1	1
熊本大	11	7	18	6	0	6	0	0	0
熊本県立大	23	27	50	11	0	11	0	0	0
熊本学芸大	10	16	26	4	15	19	4	10	14
熊本保健科学大	1	1	2	0	0	0	0	0	0
熊本県立大	14	13	27	7	1	8	1	1	2
熊本県立大	9	3	12	3	1	4	1	1	2
熊本県立大	37	46	83	28	1	29	1	29	30
熊本県立大	120	129	249	72	11	83	11	83	94
熊本県立大	19	20	39	7	32	39	7	32	39
熊本県立大	286	310	596	204	52	256	52	256	310
大阪公立大	2	4	6	0	2	2	2	2	4
北九州市立大	5	7	12	1	1	2	1	1	2
熊本県立大	20	26	46	23	1	24	1	24	25
その他の公立大	15	13	28	4	3	7	3	17	20
公立大計	42	50	92	38	7	45	7	45	52
青山学院大	1	5	6	2	3	5	3	5	8
慶應義塾大	6	4	10	1	2	3	2	3	5
慶應義塾大	7	9	16	5	4	9	5	4	9
津田塾大	2	0	2	1	0	1	0	0	0
東京理科大	4	8	12	1	2	3	1	2	3
日本大	4	4	8	1	8	9	1	8	9
法政大	15	14	29	3	2	5	2	2	4
明治大	10	17	27	2	6	8	2	6	8
立教大	2	8	10	2	3	5	2	3	5
早稲田大	7	9	16	5	0	5	0	0	0
同志社大	15	38	53	10	8	18	10	8	18
立命館大	54	66	120	31	24	55	31	24	55
関西大	6	10	16	6	2	8	6	2	8
近畿大	16	34	50	16	12	28	16	12	28
関西学院大	2	12	14	7	7	14	7	7	14
西南学院大	29	57	86	37	31	68	37	31	68
福岡大	40	66	106	39	20	59	39	20	59
熊本学芸大	6	15	21	7	2	9	7	2	9
崇城大	57	51	108	31	15	46	31	15	46
熊本保健科学大	24	26	50	2	2	4	2	2	4
その他の私立大	75	105	180	56	23	79	56	23	79
私立大計	383	558	941	310	181	491	310	181	491
防衛医科大	3	0	3	0	1	1	0	1	1
防衛大	4	2	6	0	0	0	0	0	0

令和5年度 総体・総文等全国大会・九州大会出場部活動

全国高等学校総合体育大会出場 弓道部：女子個人(1名)、漕艇部：女子シングルスカル(1名)、ソフトテニス：女子個人(1ペア)
全九州高等学校総合体育大会出場 弓道部：女子個人(1名)、漕艇部：男子舵手つきクォドルブル・女子舵手つきクォドルブル・女子ダブルスカル・女子シングルスカル、水泳(競泳)：男子50m自由形(1名)・男子100m自由形(1名)・女子200m個人メドレー(2名)・男子400mフリーリレー・男子800mフリーリレー、ソフトテニス：女子個人(1ペア)、テニス：男子個人シングルス(1名) 陸上競技部(南九州地区予選会)：女子走幅跳(1名)・男子4×400mリレー・男子400mハードル(1名)
全国高等学校総合文化祭出場 弦楽部：管弦楽部門(18名)、吹奏楽部：管弦楽部門(53名)、生物部：自然科学部門(3名)、地学部：自然科学部門(3名)、放送部：放送部門(アナウンス部門：1名)



南九州大会 400m ハードル 6 位入賞

「長編映画は本当に辛くて」と振り返る。撮影も編集も、短い時間でやらなければならないことを知った。多くの観客、温かい声に励まされた。「やってきて良かった。自分の成長につながった」と、得るものも多かった。



県総体で陸上部の仲間たちと。左が荒川さん

習の繰り返し、大会や遠征という生活今思うととてもハードで目まぐるしい生活を送っていたなと感じます。しかしながらそのような生活もまた充実したものであり、自分を成長させてくれたものだと感じています。また、学校行事や大会が開催されるかどうかはコロナの流行の波によって左右され、「自分は何のために頑張っているのか」とショックを受けることもしばしばありましたが、それよりもむしろ修学旅行や最後の高校総体など主要な行事だけでも開催することが出来たことへの感謝の方が大きかったです。コロナで制約の多かった3年間でしたが、それ以上に仲間と充実した学校生活を過ごすことができました。

夢の実現に向けて!

令和4年度恩賜記念賞・多士賞受賞者

恩賜記念賞を受賞して

東京大学教養学部(前期課程)
文科1類1年 奥野 真啓

この度は、済々黉創立140周年の記念すべき節目の年に恩賜記念賞という栄誉ある賞をいただき、ありがとうございます。受賞に当たりお世話になりました諸先生方に御礼申し上げます。東京の大学に進学しましたので、東京では「恩賜」という公園などを目にするのが多く少しだけ親近感を感じています。私が入学したのはコロナ禍真っ只中の時分でしたので、期待していた済々黉での学費生活を送ることができず不安でした。高校一年生時の恩賜記念大運動会にはあえなく中止となり、非常に悲しかったことを覚えています。しかし、先生方



恩賜賞受賞の盾を手に教室で友人と

や同窓会の諸先輩方の多大なるご支援をいただき、生徒は一体となって「済春」を謳歌しました。修学旅行は私たちの大切な思い出です。

私自身、コロナ禍でも勉学や部活、行事をとても楽しむことができました。感染対策は行いましたが、コロナ禍を意識したことはそれほど無かったように思います。済々黉生はどんな状況でも若いエネルギーに満ちていました。新型コロナウイルス感染症が瞬く間に世界中に広がっていくのを目の当たりにし、私は世界の一体化を実感しました。それと同時に、世界中の様々な課題は、もはやその地域だけの問題ではなく、私たち個人がアイデアを出し解決できるものなのだと強く思いました。

私は本費入学時、高校は中学校の延長のように考えていましたが、大学入試を通して、高校時代を如何に自分の頭で考えて過ごすかによって今後の人生が大きく変わってゆくのだと実感できました。今の済々黉生は少々型にはまりすぎているように思います。自分で考えて行動し、何かにこだわりを持つことは人間性を高める上でとても重要です。後輩諸君にはこれを期待します。私が済々黉で過ごす



部活の仲間たちと水遊び

中で、また卒業してからも済々黉の多くの課題点に気づきました。私も今春済々黉同窓会の諸先輩方の仲間入りをさせていただきますましたので、OBとして今後とも済々黉の役に立ちたいと強く思います。済々黉は現代社会の問題を解決してゆく社会的な人材を、今後さらに育成していく必要があります。私も様々な知見を身につけ、自分の夢に向かい邁進してまいります。

多士賞を受賞して 荒川 湊央

この度は多士賞を頂き、誠にありがとうございます。3年間に渡る自身の学校生活を評価して頂き光栄です。

さて、私の学校生活は青空の下で行われた入学式から始まりました。その当時は済々黉の校風である文武両道を目指し勉強と部活の両方を頑張ろうと意気込んでいた反面、コロナの流行に伴い、先行きの見えない不安もありました。コロナ禍で始まった学校生活は授業、部活、予

活躍する済々黉生!

(上西川原千晶・H4)

映像のクオリティーに定評

映画監督 池田 周治さん(3年)



放送部に所属し、映画監督の肩書を持つ池田周治さん(3年)は、クオリティーの高

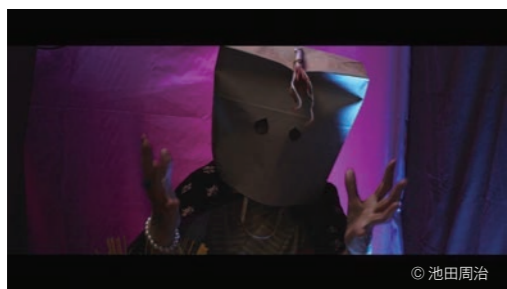
い映像制作で知られる有名人だ。放送部としてショートフィルムやドキュメンタリー番組を作り、映画祭や放送コンテストで多くの賞を受賞。学校や部活動の紹介動画からも、その魅力が伝わってくる。昨年日本テレビ系の番組「サンバリュ」の「高校生映像アワード」で、構想から編集まで72時間でショートフィルムを作り上げることに挑戦したり、初めて長編映画を作成したりと、池田周治監督「個人としての活動にも力を注いだ。

幼稚園の頃からパソコンに触って遊んでいた。小学3年生の時、マラソン大会に出た父をホームビデオで撮影、パソコンで編集したのが最初の撮影体験。以降、映画を作ることへの興味が膨らみ、毎年撮影を続けている。自分がその楽しさを感じるだけに止まらず、「音楽や絵を描くことを楽しむように、趣味で映画をやる人がいてもいい。熊本のような地方でも『映画』という(趣味の)選択肢があるということを他の人にも広めたい」と話す。

この監督が好きというのではないけど、なんとなく(スティーパーン・スピルバーグを)目指しています」と笑う。幼少期は苦手だったという英語は今では仲間とディベート大会に出場し優秀な成績を修めるほど得意に。きっかけは、米IT大手アップルと創業者スティープ・ジョブズが好きになったこと。「新商品発表を早く見たい!」と、日本語訳が待ちきれずに英語で聴き始め、上達したという。



映画「秋の夕暮れ」より



映画「Eye Know」より

海外で映像を学ぶことへの関心もある。大学進学も考えている。「大学に行っても、映画は作ると思うが、まずはその基礎となる教養を自分の中で固めた」と堅実さも見える。映像には、これまでも、そしてこれからも真剣に真面目に向き合う。

タイトルへ「さらに勉強」



女流棋士 松下舞琳さん(2年)

熊本で、今や将棋と
言ったら藤井聡太七冠
だけではない。済々黈
が誇る泉初のプロ女流
棋士、松下舞琳女流初段(2年)。物静
かで真面目で第一印象だったが、実
際は「底知れぬ闘志を秘めた強い女性」
だった。

「まりん」という名前は「海のような
広い心を持った人になってほしい」と
いう両親の願いが込められている。

小さい頃はピアノや習字、水泳など
の習い事をしてきたが「今は将棋だけ」。
5歳の時に遊んだボードゲームの将棋の
駒に書かれた漢字に興味を持ったのが
きっかけだという。祖父からルールを教
わり、ほとんど力を付けていった。

今は、約15手先を3パターン考えるこ
とができるという。「小さい頃は、対局
の棋譜を全然覚えられなかったけど、だ
んだんと自然と覚えるようになりまし
た」。詰め将棋、他のプロ棋士の対局を
盤上に再現する棋譜並べ、実際の対局を
繰り返す日々だ。

一番難しいのは対局間の日程が短い時
の体調管理。「距離的な移動に加え、緊
張感があったり余計に疲れる」と話す。一
番つらいのは、やはり負けた後。「折角

東京、大阪まで来たのに、気分も落ち込
んだまま帰ることになる」という。

「普通のJK」とは異なり、プロとし
ての覚悟も必要だろう。藤井七冠は高校
での学業を諦めた。松下さんは済々黈
の「囲碁将棋同好会」に所属しているが、
なかなか活動には参加できていない。た
だ、対局で早退することもあるものの「学
校自体は楽しい」と笑顔を見せた。

今のところ、大学進学は考えておらず、
プロの女流棋士の道を究めて「自分の将
棋を面白く思ってもらえるようにした
い」と意気込む。より多くの人に自分の
棋譜を見られる機会が増えるため、さら
に勉強しないと強くはなれないと自分を
戒める。

当面の目標は10代で二段に昇段するこ
と。昇段規定は厳しいが、その先の夢も
見えている。「25歳ぐらいまでにタイト
ルを獲る」。静かに力強く語ってくれた。



対局中の松下さん(令和4年度総文祭優勝時)

後輩にエール!



りにも一橋大に進学した自分が今度は質
問に答える番だと感じました」。

中学3年時の担任・宮村直幸先生(H
19)の勧めを受けて済々黈を受験。コロ
ナ禍の高校生活では委員会活動にも尽力
した。「敬愛する養護教諭・柴田博美先
生(H8)のご指導の下、大保健委員
会」を設立して、積極的かつ斬新な感染
防止に取り組みました。当時の業績は碑
が建ってもいい程だと思います(笑)。

勉強法のポイントは「教科書と運命を
共にする覚悟」と「辞書暗記」とい
う。「教科書中の問題をいつ、どこで
誰に、なにを問われてもいかに
に徹底的に解いて自分の脳に思考過
程を刻みつける!勉強とは体育です」。

また、辞書でA-Zまで、スペル
が似ている単語の記述をペンで囲んで
事あるごとに引いてきました。日本人の
英語力、英語環境などが知られてま
す。加えて、毎日ALT(外国語指導助
手)の先生に英文を添削して頂き、英語
でフィードバックをもらいました。こ
れこそ英語4技能を使っていると思いま
せんか!」。

3月の春休み。勉強
する生徒たちで賑わう
多士会館入り口に在學生と話し込む青年
がいた。令和4年卒の植田清翔さん。済々
黈応援団第66代団長を務め、この春、一
橋大学に合格。「自分の経験が後輩の勇
気になれば...。ぜひ『僕』を使ってほし
い」と東京直前にも関わらず相談会を開
いていた。その思いを聞いた。

最後に、後輩達へエール。
「黄色い血が流れてるんだから、常に戦
え!先生と言いかいもしろ!大義を持
て!友達だけは大切にしろ!辞書を引
け!毎日日本当に楽しめ!!」。

(上西川原千晶・H4)

武藤眼科・大久保内科

理事長 武藤 宏一郎 (S27年卒)

〒860-0851 熊本市中央区子飼本町1-18
TEL : 096-343-3510



株式会社 岩永組
860-0812 熊本市中央区南熊本4丁目8-32
TEL 096-372-3333 FAX 096-372-3600
URL http://www.i-gumi.co.jp

医療法人 朝日野会 系列病院

医療法人 朝日野会グループ

朝日野総合病院 救急告示指定(二次) 十善病院 ※博愛会病院は
十善病院と統合
〒861-8072 熊本市北区室園町12-10 熊本市中央区南熊本3-6-34
TEL 096-344-3000 FAX 096-343-7570 TEL 096-372-2688



医療法人 蘇春堂グループ

球磨病院 球磨病院介護医療院
人吉市上青井町176 人吉市上青井町170-1
TEL 0966-22-3121 TEL 0966-24-2854

光生病院 球磨村診療所
人吉市下原田町1125-2 球磨郡球磨村一勝地甲77-17
TEL 0966-22-5207 TEL 0966-32-0377



名誉会長 富永 晃夫 (昭和34年卒)
代表取締役社長 富永 哲生 (昭和60年卒)

■本 社 〒862-0967 熊本市南区流通団地1-8
TEL 096-377-2111(代) FAX 096-377-2134
■鳥 栖 支 店 〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜3-26
TEL 0942-85-0231(代) FAX 0942-85-1208
■福 岡 支 店 〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野738-1
TEL 092-962-3833(代) FAX 092-962-3885
■北九州支店 〒803-0801 福岡県北九州市小倉北区西港町62-1
TEL 093-562-3300(代) FAX 093-562-3310
グループ企業
■ハウディ大分食品株式会社 〒870-0319 大分市大分流通業務団地2丁目2番地の1
TEL 097-535-7735(代) FAX 097-535-7738

熊本トヨタホールディングス KUMAMOTO TOYOTA HOLDINGS

代表取締役社長 與 繩 義 昭 (昭和35年卒)
取締役副社長 與 繩 英 二 (昭和42年卒)

トヨタL&F熊本 専務取締役 森田 啓一 (昭和50年卒)
ジェームスシティ 代表取締役社長 中村 幹男 (昭和57年卒)
熊本トヨタ自動車 取締役 中川 大 (平成4年卒)

OMOTE SANDO YOSHIDA HOSPITAL

医療法人 起生会
表参道 吉田病院
会長 吉田 憲史 昭和33年卒
総院長 吉田 仁爾 昭和35年卒
〒860-0855 熊本市中央区北千反畑町2-5
TEL(096)343-6161 FAX(096)343-7626

建築物総合サービス 清掃管理・設備管理・給食管理
衛生管理ならおまかせください! 警備業務・建設業・人材派遣

感謝と共に 笑顔の明日を
1980 株式会社 三 勢
代表取締役会長 福原 英喜 (S35年卒)
代表取締役社長 福原 浩倫 (S63年卒)
熊本市中央区帯山3丁目8-44 三角 真一郎 (S63年卒)
電話 096(383)2341

HARUYAMA Law office 春山法律事務所
福岡市中央区大名2丁目10番23号

福岡県弁護士会所属 弁護士 春山 九州男 (昭和38年卒)
弁護士 林 誠 (平成9年卒)
tel 092-712-2458 / fax 092-712-3814

餃子屋 式ノ式 NI NO NI
草野 龍二 (昭和38年卒)

代表取締役会長
牛島 敏文 (S44年卒)
Toshifumi Ushijima

Life Tact
プロフェッショナルエージェント
トップグレード認定代理店

株式会社 ライフタクト
本社・熊本支店
〒862-0976 熊本市中央区九品寺2丁目3番7号
Tel.096-372-4155 Fax.096-372-4158
【Mail】tushijima@lifetact.co.jp
【URL】https://life-tact.jp/

UJSE
JAB MS CM008
対象業務：保険代理店

(社) 日本シャッター・ドア協会理事
東鋼シャッター株式会社

代表取締役会長 **岡 陽 一** (昭和44年卒)

太陽光発電システム 施工・販売
本社 営業部 〒861-1104 熊本県合志市御代志 1656-3
Tel.(096)242-4126 Fax.(096)242-2959
支店・営業所 福岡 八代 天草
E-mail : toko-s@basil.ocn.ne.jp

トコソラ TOKOSORA

総合建設業
INNOVATOR MITSUNO 株式会社 **三津野建設**

代表取締役会長 **西尾 剛人** (昭和39年卒)

〒862-0910 熊本市東区健軍本町23番5号 ☎(096)369-1281(代)・FAX369-1257
URL:http://www.mitsuno.jp/ E-mail info@mitsuno.jp

四代 になわたり教えを受けたことを感謝します。
久木田 壽次郎(祖父、M5生、中退して上京し医学校卒業・医師)
久木田 精(伯父、T6卒・東大工卒) 犬童(久木田) 克己(伯父、S3卒)
野口 一夫(父、S8卒) 野口 哲夫(叔父、S10卒)
野口 邦夫(兄、S35卒・医師・恩賜記念賞受賞) 久木田 衛(従兄、S27卒)
千葉(野口) 恵子(長女、H8卒・弁護士・東大経済卒) 松本 洋三(従兄、S35卒)

野口法律事務所 熊本市中央区西子飼町6-6
TEL 096(345)0072

弁護士 野口 敏夫 (S38卒・恩賜記念賞受賞・東大法卒)
弁護士 野口 敏史 (長男・東大法卒) 弁護士 福原 明子 (二女・東大経済卒)

私は、北朝鮮に拉致された日本人被害者を救出する熊本の会の会長を、同じ済々費OBでS48年卒加納良寛氏(R5年2月逝去)からH28年引き継ぎ務めています。初代会長はS47年卒の諸隈弘毅氏(現事務局長)、同年卒の多久善郎氏(理事)らと共に活動しています。熊本の拉致被害者松木薫さん(S47年九州学院卒)などを北朝鮮から奪還する活動を松木さんと同年代の我々が取り組む縁の不思議さを感じます。済々費同窓生の皆さん、拉致被害者を救い出す活動へのご協力とご支援をお願いいたします。
なおバッジは当事務所と熊本県護国神社で販売中です。

布田 悟 法務総合事務所

拉致された日本人被害者を救出する熊本の会 会長
司法書士・行政書士・菊陽町議会議員
土地家屋調査士
山鹿中学校教諭
菊池郡菊陽町大字津久礼2385-5(三里木・菊陽バイパス沿) TEL 096-232-3321

布田 悟 (昭和46年卒) 空手部
布田 俊 (昭和50年卒) 吹奏楽部
布田賢次郎 (平14年卒) ラグビー部

「救出済」ブルーリボンバッジ
あなたも意思表示を!

正確・迅速・丁寧

永村一泰 税理士・行政書士事務所

経営・税務・組織再編・事業承継

TEL.096-341-2921

蘇り、磨かれる。より豊かな街へ

KIMURA 株式会社 **木村建設**

会長 **木村 賢治** (昭和40年卒)
鈴木 好美 (昭和55年卒)
永田 佳世 (平成14年卒)

一級建築士事務所 県知事 第1585号
建設業許可:県知事(特4)第648号
宅地建物取引業者 県知事(2)第5292号

本社/〒860-0863 熊本市中央区坪井6丁目17番15号 http://www.kimura-c.co.jp/
TEL (096)344-3271 FAX (096)344-3229

南阿蘇の医療を支えています
医療法人社団 清流会 **渡邊内科**

院長 **渡邊 久倫** 副院長 **渡邊 春海** (S38卒)
阿蘇郡南阿蘇村河陰4667 Tel. 0967-67-1777

分院 **渡邊総合内科クリニック**
呼吸器内科・循環器内科・神経内科・消化器内科

理事長・院長 **渡邊 義之** (H5卒)
阿蘇郡高森町大字高森2022-3 Tel. 0967-65-2201

浄行寺交差点

小島眼科

厚賀 啓助 (S49卒) 真嶋 浩 (S49卒)
迎田 恒成 (S49卒) 野田 研一 (S50卒)
佐保 優 (S59卒) 江藤 顕士 (H8卒)
山口佐和子 (H13卒) 山下 美月 (H18卒)

土地・建物・賃料等の評価業務
(有)地域クリエイト科学研究所

代表取締役 不動産鑑定士 **津留 伴一** (S46年卒)
TOMOKAZU TURU

〒862-0910 熊本市東区建軍本町9番11号
TEL:096-365-9551 FAX:096-367-3398
E-mail:turu@tiikicreate-turu.jp

大宝堂
メガネと補聴器

おかげさまで116周年
これからも快適な「見える」「聴こえる」をお届けします。

代表取締役会長 布田 昭 (S40年卒)
代表取締役社長 布田 善久 (H13年卒)

上通本店 〒860-0845 熊本市中央区上通町5-6 ☎096-354-2155

令和5年度母鬘創立141周年記念
済々費三綱領精神による人づくり

すずかけ台保育園 理事長 **平野 正憲** (昭和40年卒)
園長 **平野 光祐** (平成10年卒)
(創立44周年)

社会福祉法人 しあわせ福祉会 すずかけ台保育園
〒861-1115 熊本県合志市豊岡2000-699 TEL:096-248-4532

シアーズホームグループ

代表取締役 **丸本 文紀** (S49卒)

厚賀 啓助 (S49卒) 真嶋 浩 (S49卒)
迎田 恒成 (S49卒) 野田 研一 (S50卒)
佐保 優 (S59卒) 江藤 顕士 (H8卒)
山口佐和子 (H13卒) 山下 美月 (H18卒)

住い工房 有限会社 **アイ・エス・ティー・ビー**

代表取締役社長 **松村 秀逸** (昭和48年卒)

〒860-0085 熊本市北区高平3丁目13-35-2F
TEL 096-344-0015 FAX 096-344-0065
istb@f-matsumura.com

株式会社 **桜樹会・古川建築事務所**
OJUKAI-FURUKAWA ARCHITECTURAL OFFICE

代表取締役 古川 裕久 一級建築士・昭和41年卒
副代表取締役 古川 瑠実 一級建築士・構造設計一級建築士
平成10年卒

〒862-0950 熊本市中央区水前寺6丁目28番8号
TEL(096)381-2370 FAX(096)381-2415

同仁堂でキレイが輝く。
創業1913年 地域に根ざし、届ける「キレイと元気」

くすりと化粧品 **同仁堂** smile on your heart

〒860-0845 熊本市中央区上通町2番7号
TEL:(096)322-7111 FAX:(096)325-4030

保険調剤 処方せん受付
グリーン薬局
GREEN PHARMACY

神水店・月出店・長嶺店・戸島店
下南部店・春日店・豊岡店・佐土原店

〒862-0954 熊本市中央区神水1丁目33-11 昭和49年卒 今井 政文
TEL 096-382-0256 FAX 096-382-0370

登記・測量 **原田事務所**

代表 **原田 之治** (S49年卒)
土地家屋調査士・行政書士・測量士
有限会社 **円測量設計社**

〒862-0970 熊本市中央区鹿鹿7丁目8-52
アール・ド・ヴィーヴル 201
TEL(096)363-5901 FAX(096)363-5925
E-mail:en_harada@k2.dion.ne.jp

M 溝口病院
MIZOGUCHI HOSPITAL 1909
創立 明治42年

院長 **小島 哲夫** 昭和42年卒
済々費 福岡同窓会 会長

〒810-0001 福岡市中央区天神 4-6-25
TEL(092)721-5252

谷口 亮 作

崇城大学
SOJO UNIVERSITY

(有) 行徳パン

(S50年卒) 行徳 了一 (応援団)
(H20年卒) 行徳 仁 (空手部)

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷3丁目1の28
TEL:364-0562

一 病院機能評価認定病院 一
医療法人社団 永寿会 **天草第一病院**
熊本県天草市今釜新町3413-6 〒863-0013
Tel:0969-24-3777 Fax:0969-24-0870

不動産管理 **株式会社トムス**
熊本市中央区新屋敷 3-4-3
TEL 096-363-7322

不動産仲介(売買・賃貸) **株式会社ハウスレッシュ**
熊本市中央区新屋敷 2-13-12
TEL 096-366-9020

TKC 認定経営革新等支援機関
宍倉 渉 税理士事務所
株式会社インフォミックス

代表取締役 宍倉 渉 (S43年卒)
Shishikura Wataru
事業承継士

〒866-0866 熊本県八代市鷹辻町5-25
TEL(0965)33-3521 FAX(0965)33-3523
http://www.sisikura-oda.jp/
E-mail:wataru-sisikura@tkcnf.or.jp

KUMAMOTO SDGs
2010 Diamond prof Kumamoto
EPA 150 9001 認証取得企業

普通免許入校者数
44年連続 **No.1**



Enjoy! Rule & Manner
テラバル自動車学校

清々塾 熱烈歓迎!
元気納豆 (平成24年卒)

マルキン食品株式会社
本社/熊本県中央区世安町380

代表取締役 社長
吉良 扶佐子 (S60年卒)



マルキン食品の公式 SNS 各種に飛べるQRです!

元気納豆 ひきわり本仕込み

学校法人 未来創造学園

熊本電子ビジネス専門学校
<http://www.denbi.ac.jp>
〒862-0976 熊本県中央区九品寺2丁目2-38
TEL(096)362-5656 FAX(096)362-5675

理事 **吉山 壽一** (昭和62年卒)

熊本デザイン専門学校
<http://www.kumamoto-design.ac.jp>
〒862-0973 熊本県中央区大江本町2-5
TEL(096)364-8500 FAX(096)364-2100

心ひとつ 医療と福祉の融合

医療法人社団 仁誠会

理事長 **田尻 哲也** (平成2年卒)

Reborn 一生まれ変わる一

田添 昇 仁誠会クリニック 大津 医師 (S.49年卒)	池崎 信彦 仁誠会クリニック 黒髪 医師 (S.52年卒)	江田 幸政 仁誠会クリニック 光の森 院長 (S.56年卒)	太田 裕美子 仁誠会クリニック 黒髪 院長 (H.5年卒)	吉田 美幸 仁誠会 理事 (S.51年卒)
---------------------------------------	--	---	--	-----------------------------

<https://www.jinsekai.or.jp/>

医療法人社団 至福会

添島歯科医院

院長 **添島 義樹**
副院長 **添島 英輔** (H2年卒)
訪問部長 **添島 麻里**

〒862-0975 熊本県中央区桜町1-28-205
TEL 096-354-5087 E-mail contact@soejima-sika.com

母費並びに同窓会の益々のご発展を祈念いたします。
清々塾平成三年卒業生一同



平成3年卒で実行委員を担当した平成24年大同総会終了後、これからも「脈々と」

有限会社 西口晴秀堂
すこやか堂薬局・すこやか堂薬局みよし店・すこやか堂薬局江津店

代表取締役 **西口 賢太郎** (S58年卒)
薬剤師 **西口 直子** (S62年卒)

〒860-0017 熊本県中央区尾ノ上1-8-11
TEL.096-369-8448

宮田総合法律事務所
弁護士 **宮田 房之** (昭和59年卒)

MIYATA & PARTNERS
〒860-0017 熊本県中央区練兵町88-3
PHONE 096-312-1188・312-1189
FAX 096-312-1190
<http://bengoshi.ecgo.jp/>

新産住拓株式会社
熊本県南区近見8丁目9-85

代表取締役社長 **小山 英文** (昭和60年卒)

GOOD DESIGN 熊本の木の家

ST-エコ SSG 工法
新しい建設の未来に

誉産業株式会社

代表取締役 **米満 泰二** (S62年卒)

熊本県南区野田3丁目9番19号/〒861-4114
Phone: 096-357-2167 FAX: 096-357-2157
E-mail: yonemitsu@homare-kk.com

お気軽にご相談ください

弁護士法人 **田中ひろし法律事務所**

弁護士 **田中 裕司** (平成2年卒)

熊本事務所 〒860-0047 熊本県熊本市区春日5-6-5 田中スクエアビル2F
TEL.096-312-8868 FAX.096-312-8878

河津法律事務所

弁護士 **河津 和明**
弁護士 **河津 典和** (H2年卒)
弁護士 **土井 洋平**
弁護士 **永田 成真**

〒860-0848 熊本県中央区南坪井町1番24号
TEL:096-325-0810 FAX:096-325-0817

九州を中心に2,000戸を超える販売実績

マンション・戸建ては「アルバクリエイト」

アルバクリエイト株式会社
代表取締役 **塩山 耕起** (S51年卒業)
TEL 092-732-1011

宅建多士会は、下記記載の不動産に関する専門家で構成しています。信頼おける窓口として、皆様からのご相談に対応いたしますので、お気軽にお声掛けください。

済々塾宅建多士会

第20代会長 **坂口 治史** (S52年卒)
(株)サンコーライフサポート TEL 096-288-5669

事務局 **桐山 馨** (運営専務・S56年卒)
(同)桐山経営研究所 TEL 090-9591-5553

【会員業種】
不動産業・建設業・建築設計事務所・土コンサル業・住宅メーカー・解体業・不動産鑑定士・土地家屋調査士
弁護士・司法書士・税理士・社労士・保険業・福祉関連業・印刷業・自動車学校・衆院県市議、他

株式会社 通宝

代表取締役 **塚田 一成** (昭和53年卒)

〒862-0946
熊本県熊本県東区画図町所島1100番
Tel 096-370-0066 Fax 096-370-2552
<http://www.tuhonori.co.jp/>
<https://www.478124.com/>

通宝海苔HP のり通HP

M-TECH エムテック株式会社

代表取締役 会長 **岩間 浩憲** (昭和54年卒)

〒860-0072 熊本県西区花園1丁目20-66
TEL.(096)351-1810(代) FAX.(096)351-1803
E-mail: m-tech@sea.plala.or.jp

菱設株式会社
空調・冷凍・電気設備 設計 施工 保全

医療法人 木星会 **山鹿温泉 リハビリテーション病院**

【診療科目】
リハビリテーション科、内科、放射線科、消化器外科、消化器内科

理事長 **田代 桂一** (昭和55年卒)

〒861-0514 熊本県山鹿市新町1204
TEL 0968-43-4151 FAX 0968-43-4153
Homepage <http://www.yamaga-reha.jp>

西本会計事務所

税理士 **西本 寛** (S58年卒)

〒862-0971 熊本県中央区大江4丁目19番76号
TEL096-372-2309 FAX096-362-3277

キモノや帯のお誂えやお手入れは
何でも相談できる 親切な専門店

ぎん せん 銀添

代表取締役 **河野 景治** (昭和50年卒)

熊本県中央区・水道町交差点 電話 (096)354-6000

株式会社 **サンコーライフサポート** 代表取締役 **橋本 一郎** (S52年卒)

【本社】〒861-1102 熊本県合志市須屋250-1
TEL▶096-348-0039 FAX▶096-348-0031 URL▶<https://sankolife.co.jp>

通所型サービスA/通所介護事業所 サービス付き高齢者向け住宅 スリースマイル秋桜

住宅型有料老人ホーム 訪問介護事業所 元気な家 ひまわり

仕事と育児の両立を目指す「企業主導型保育園」 **ぞうさんのほむ保育園**

居宅支援協議会 居宅支援法人として住まい・住まいの総合支援を実施 (一社) 合志市居宅支援協議会

社会福祉法人 三幸 合志市の森小学校 ぞうさんクラブ 就労継続支援A型事業所 YORISOI 三幸居宅介護支援事業所

■高齢者施設所在地 合志市・福岡市早良区・宇土市 ■宅地建物取引業 熊本県知事(1)第5633号

多士 済々

母費の益々のご発展を祈ります

ダスキン熊本 会長 **甲斐 紳一郎** (S53年卒)
〒862-0951 熊本県中央区上水前寺1-10-21 TEL 096-384-1331

石坂グループにおまかせください!

家庭ごみ・事業ごみの回収
鉄くず・古紙の買取
リサイクル品の販売

LINE@で簡単お見積もり!

有価物回収協業組合 **石坂グループ** 0800-200-5501 伊藤敦子(S53年卒) 石坂広徳(H元年卒)

たまみずえん **株式会社セレモール熊本**

「お役に立ちたい」が願いです

代表取締役 **坂口 滋一** (S55年卒)

〒861-5403 熊本県玉名市天水町部田見2255-1
TEL 0968-82-4227

逆境を乗り越えて
熊本のさらなる発展へ

済々塾熊本県庁同窓会
会長 **原山 明博** (S57年卒)

株式会社 タケモト
 代表取締役社長 武本 英博 (平成4年卒)

学生服の **AFFEL**

学生服 / 事務服 / 作業服 / Tシャツ / トレーナー / 帽子
 食品工場、病院、ホテル、飲食店などのビジネスユニフォーム

〒861-8035 熊本市東区御領2丁目14-18 TEL: (096) 389-2321 FAX: (096) 389-1108
<http://www.takemoto-net.co.jp/>

弁護士法人 東法律事務所
 LEGAL PROFESSIONAL CORPORATION HIGASHI LAW OFFICE

弁護士 東 健一郎 (平7年卒)
 Kenichiro Higashi

〒860-0846 熊本市中央区城東町2-12 3F
 tel.096-227-6677 fax.096-227-6688
<http://www.higashi-law.jp>

株式会社 江副石材工業
 SINCE 1921 石の世界
 石の未来を築く

代表取締役社長 江副 弘幸 (平成9年卒)

本社「石の世界」竜田展示場
 〒861-8006 熊本市北区龍田2丁目19番31号 (三の宮 旧57号線沿)
 TEL:096-338-8684 (代) FAX: 096-338-8749

株式会社 同仁グローバル
 科学を通して幸せな未来を実現する
 Think Globally, Act Locally

代表取締役 上野景太 (H11年卒)

〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原2081-25
 TEL: 096-286-1311 FAX: 096-286-1312

各種受託分析承ります。 Facebook

(株) 林田直樹建築デザイン事務所
 (H15年卒)

建築物一般の設計・工事監理一式を承ります
 熊本県熊本市南区奥古閑町1747-2
 TEL: 096-342-6024 / FAX: 096-342-6025
 MAIL: naoki@nh-hayashida.com / WEB: www.ne-hayashida.com

司法書士 小山鈴子事務所

司法書士 小山 鈴子
 司法書士 山田 悠生 (平成21年卒)
 司法書士 吉田 泰子
 司法書士 塩田 悠乃 (平成18年卒)

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷3丁目14番5号
 Tel: 096-362-7288 / Fax: 096-362-7266

10年後も50年後も、「満足の続く」家づくり。

Heartful Design 平野設計室

住宅・店舗・アパート・介護施設等の新築工事とリフォーム工事

代表取締役 平野義登 (平成4年卒)

〒860-0833 熊本市中央区平成3丁目5-6
 TEL: 096-378-7091 Mail: hirano@j-hirano.co.jp

千葉総合法律事務所
 企業法務、国際法務、知財法務を担当しています

弁護士 千葉 康博 (米国ニューヨーク州弁護士)
 一般社団法人アジア法務サポートセンター代表理事

弁護士 千葉 (野口) 恵子 (H8卒) 弁護士 遠藤 光太郎

〒860-0804 熊本市中央区辛島町69番地 LAMONTE 1 7階
 TEL 096(288)1842 FAX 096(288)1642
 E-mail yasu@noguchiba-law.jp

『May the "Sankoryo" be with you !』

代表社員 / 所長 前田 智徳 (平成9年卒)

〒860-0074 熊本市西区出町4番30号
 TEL: 096-295-1000
 MAIL: t.maeda@8otto.tech

服部公認会計士・税理士事務所
 HATTORI CPA・CPTA OFFICE

公認会計士・税理士 所長 服部 学 (平成11年卒)

〒860-0052 熊本市西区田崎本町4-10 1階
 TEL 096-325-2001
 FAX 096-325-2003
 [E-MAIL] hattorim33334@gmail.com

ライオンズクラブ国際協会337-E地区
熊本黄壁城ライオンズクラブ
 済々學卒業生だけで結成されたライオンズクラブです

会長 南部 隼平 (H15卒)

事務局 080-1316-0992 (片岡 H18年卒)
<http://www.ouhekijyo.com/>
 Email: ouhekijyo.lc@gmail.com

Tax Account TH Office
竹下博貴税理士事務所

竹下 博貴 HIROKI TAKESHITA (平成20年卒)

〒862-0954 熊本市中央区神水2丁目13番34号 竹下ビル4F
 TEL: 096-385-0202

3 青年会 Zoom 座談会 (2023.05.28)
 40歳以下会員 全員集合
 熊本青年会 東京青年会 関西青年会



各イベントでの共通した課題が人集め、イベント周知ではインスタグラムで知ったという声が多いものの広がりには限定的。組織運営のノウハウを3青年会で共有化して交流を増やし、情報拡散の課題解決を図りたいとしている。

座談会参加者は、10〜20代の同窓生は「わざわざ参加しなくても」「出来れば遠慮したい」とのスタンスではないかと感じていたという。今後の活動を安定的に続けていくために青年会の共通目標は「とにかくまず1回参加してもらう」とこのハードルをどう下げるか。

座談会は終始話題が尽きず、一部しかここに書けなかったが、最終的に全員で熱く一致したことは、東京、関西の2人が秋に帰熊した際に実際に集まり、もっと深い話をタブラー無し、時間制限無しでやろうということ。今から楽しみにしている。

「同窓会も青年会もイメージ悪いんです。」
 これまで不参加の人は同窓会、青年会をどう見ている、というのが座談会参加者の共通認識。ただ、「一旦参加してみれば楽しいし、イメージの悪さは誤解だったと気づく人も多いのですが…」と続く。

それぞれコロナ禍から徐々に復活しつつあり、熊本では昨年、オンラインでの就活相談などを開催、今年は多士會交流会をサポートする。関西では久しぶりに5月にBBQを開催、東京でも2月と5月にイベントを開催した。

- 私としては、皆さんの「秋の青年会大座談会」提案に心より感謝して、財布に多めにお金を入れて、体調を整えて参加したいと思っている。
- 参加者 (敬称略)
- 熊本 和泉 伸之介 (元会長・H14)
 - 森 祐生 (前会長・H15)
 - 東京 富永 結貴 (会長・H16)
 - 中尾 剣士 (会長・H21)
 - 関西 佐々 允 (会長・H21)
 - (吉田 光一郎・H3)

開館ボランティア(大)募集中!!

まずは聞いてみよう!と昨年末に多士會館に電話をかけ、ボランティアの内容を知ることができ、参加へのハードルは一気に下がりました。今は、自分にできる月1回の緩やかなペースでお手伝い中です。

開館ボランティアの業務(活動)内容をご紹介します。時間は、平日は19〜21時、土曜日は17〜19時の2時間で、時間中は、シルバー人材センターからの派遣の方(シルバーさん)と一緒に多士會館にいます。開館業務に慣れたシルバーさんが2人おられ、毎日交代で入られるので初めてのボランティアの方でも安心です。生徒の人数に合わせた自習室(1、2階会議室)の調整、閉館準備、閉館後の施設等の施設管理はシルバーさんの業務です。私たち開館ボランティアは、1階の玄関近くのテーブル席で、主に生徒の入退館時の見守りをしています。一番大きな役割は、シルバーさんが2階に行かれた時に1階が無にならないように、また、生徒の具合が悪くなった時などにシルバーさんと



来館した生徒の受付をする小倉さん



ボランティアをしよう! 小倉真奈美 (S63)

今年から参加させていたいています。同窓会会報の開館ボランティアの記事が気になっていました。

複数で対応できるように多士會館に待機していることです。読書したり、仕事を持ってきたり、ボランティアの時間中の過ごし方はそれぞれで、ちょっとした自分時間にもなります。

高校卒業後は学校との関わりはありませんでした。子供たちにとってもいつでも勉強できる場所があること、大切さや有難さを感じてきました。自習のために訪れる生徒の数やその様子を見ると、多士會館の自習室が本当に必要とされていることを感じます。

開館延長が今後も安心して継続されるためにはボランティアの経験者や登録者が増えていくことがとても大事です。まずは、1回だけでも参加していただき、無理なくできる範囲で協力していきましよう。

多士會館の維持費で運営されています!

同窓会 活動報告

委員会・プロジェクトチーム

済々黌創立140周年記念 進学奨学金創設について

2022年2月11日、済々黌は創立140周年を迎え、1年間にわたり、様々な記念事業を実施しました。記念事業については、恒例により1000万円の予算が用意されていましたが、今回は、顕彰制度を採用し、広く同窓生から寄付を募ることで、当初予定した記念事業を全て実施したうえで、なお約500万円の余剰金を確保しております。これもひとえに、ご協力をいただいた同窓生各位のお力添えによるものご心より感謝申し上げます。

この余剰金の使途については、幹事会及び代表評議員会を経て、先の総会にお諮りし、同窓生各位の賛同を得、新たに「済々黌同窓会進学奨学金」として活用する運びとなりました。

母費は、県内有数の進学校として知られていますが、近年、費長先生をはじめとする教師陣のご指導もあり、一昨年は、国公立進学人数日本一の栄誉に輝くなど、

我が母費とは思えぬ(個人的な感想です)成果を上げております。他方で、保護者の経済的な理由等により、地元を離れ大都市部の大学に進学することをあきらめる生徒がいると聞き及んでおります。費長先生のお話では、進学時にまとまった資金が必要となるのが、一番の隘路になっているとのことですが、(月々の奨学金は、貸与や給付として多数制度があります)。

日々多士会館で勉学に勤しむ優秀な後輩が、資金面で躊躇し、上位校への進学をあきらめる姿を見ることが卒業生として忍びない思いです。

そこで他県の同窓会奨学金制度を参考に、本年度から、毎年1、2名の生徒に進学奨学金として50万円を給付する方向で現在学費と協議を進めています。また、持続可能な制度とするためにも、同窓生各位には後輩のための「進学奨学金」に対するご寄付を呼びかけ、その充実を図っていきたく考えています。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

ご寄付のお申し出は、同窓会事務局までお願いいたします。

(担当幹事：成尾雅貴・S52)

デジタルアーカイブ

「費辞苑」について

済々黌に在籍した3年間(人によっては長短あり)には、誰しも探せば何某かの証が残されているのではないのでしょうか？ ささやかな私たちの営みの総体が母費を形成し、融合し、一つの時代を作ってきました。

これらの証を持ち寄ることで、母費の公式記録では取り上げられていない、私たちの3年間を、そして母費の140年間を再現し未来に引き継ぎたい。

この思いから、母費創立140周年記念事業のひとつとしてデジタルアーカイブ「費辞苑」を用意しました。

在費中の創作活動(絵画、書、文芸、作詞、作曲、演奏など)、部活の記録(試合結果の記録や夏祭大台宿の手引など)、体育祭や文化祭の出展記録、個人レベルでの各種コンクール出場展覧の記録(受賞した賞状や楯・トロフィー)、模試の結果、通知表やラフレターや交換日記(いずれもお相手の承諾は必須です)など…或いは卒業後も続く交流の記録、例えばOB会会報や地区同窓会の記録なども歓迎します。

皆様の参加をお待ちしています。詳細は、同HPをご覧ください。

なお、掲載費用はご本人にご負担いただくことになっております。また、学費で保存すべき公式記録は同窓会での保存の対象となりません。ご了承ください。

(担当幹事：成尾雅貴・S52)

我が母費とは思えぬ(個人的な感想です)成果を上げております。他方で、保護者の経済的な理由等により、地元を離れ大都市部の大学に進学することをあきらめる生徒がいると聞き及んでおります。費長先生のお話では、進学時にまとまった資金が必要となるのが、一番の隘路になっているとのことですが、(月々の奨学金は、貸与や給付として多数制度があります)。

日々多士会館で勉学に勤しむ優秀な後輩が、資金面で躊躇し、上位校への進学をあきらめる姿を見ることが卒業生として忍びない思いです。

そこで他県の同窓会奨学金制度を参考に、本年度から、毎年1、2名の生徒に進学奨学金として50万円を給付する方向で現在学費と協議を進めています。また、持続可能な制度とするためにも、同窓生各位には後輩のための「進学奨学金」に対するご寄付を呼びかけ、その充実を図っていきたく考えています。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

ご寄付のお申し出は、同窓会事務局までお願いいたします。

(担当幹事：成尾雅貴・S52)

デジタルアーカイブ

「費辞苑」について

済々黌に在籍した3年間(人によっては長短あり)には、誰しも探せば何某かの証が残されているのではないのでしょうか？ ささやかな私たちの営みの総体が母費を形成し、融合し、一つの時代を作ってきました。

これらの証を持ち寄ることで、母費の公式記録では取り上げられていない、私たちの3年間を、そして母費の140年間を再現し未来に引き継ぎたい。

この思いから、母費創立140周年記念事業のひとつとしてデジタルアーカイブ「費辞苑」を用意しました。

在費中の創作活動(絵画、書、文芸、作詞、作曲、演奏など)、部活の記録(試合結果の記録や夏祭大台宿の手引など)、体育祭や文化祭の出展記録、個人レベルでの各種コンクール出場展覧の記録(受賞した賞状や楯・トロフィー)、模試の結果、通知表やラフレターや交換日記(いずれもお相手の承諾は必須です)など…或いは卒業後も続く交流の記録、例えばOB会会報や地区同窓会の記録なども歓迎します。

皆様の参加をお待ちしています。詳細は、同HPをご覧ください。

なお、掲載費用はご本人にご負担いただくことになっております。また、学費で保存すべき公式記録は同窓会での保存の対象となりません。ご了承ください。

(担当幹事：成尾雅貴・S52)

令和5・6年度 済々黌同窓会役員

役職	氏名	
会長	諸熊 建次 (S44)	
副会長	宮本 誠二 (S44)	中村 俊雄 (S44)
	長谷川佳代子 (S49)	幸山 政史 (S59)
会計監査	永村 一泰 (S44)	赤星 洋一 (S50)
幹事長	今井 政文 (S49)	
副幹事長	野田 研一 (S50)	
幹事	平野 正憲 (S40)	藤澤 哲也 (S43)
	坂元 京子 (S46)	多久 善郎 (S47)
	吉永 慎一 (S48)	成尾 雅貴 (S52)
	尾本 裕昭 (S54)	北里 佳寿子 (S60)
	松村 和也 (S63)	河津 典和 (H2)
	荒川 慎太郎 (H3)	米川 健一 (H3)
	前田 智徳 (H9)	古池 泰士 (H14)
	林田 直樹 (H15)	河野 祐生 (H18)
	山田 悠生 (H21)	

学年代表評議員

学年と同窓会をつなぐパイプ役としてのご活動に感謝申し上げます。

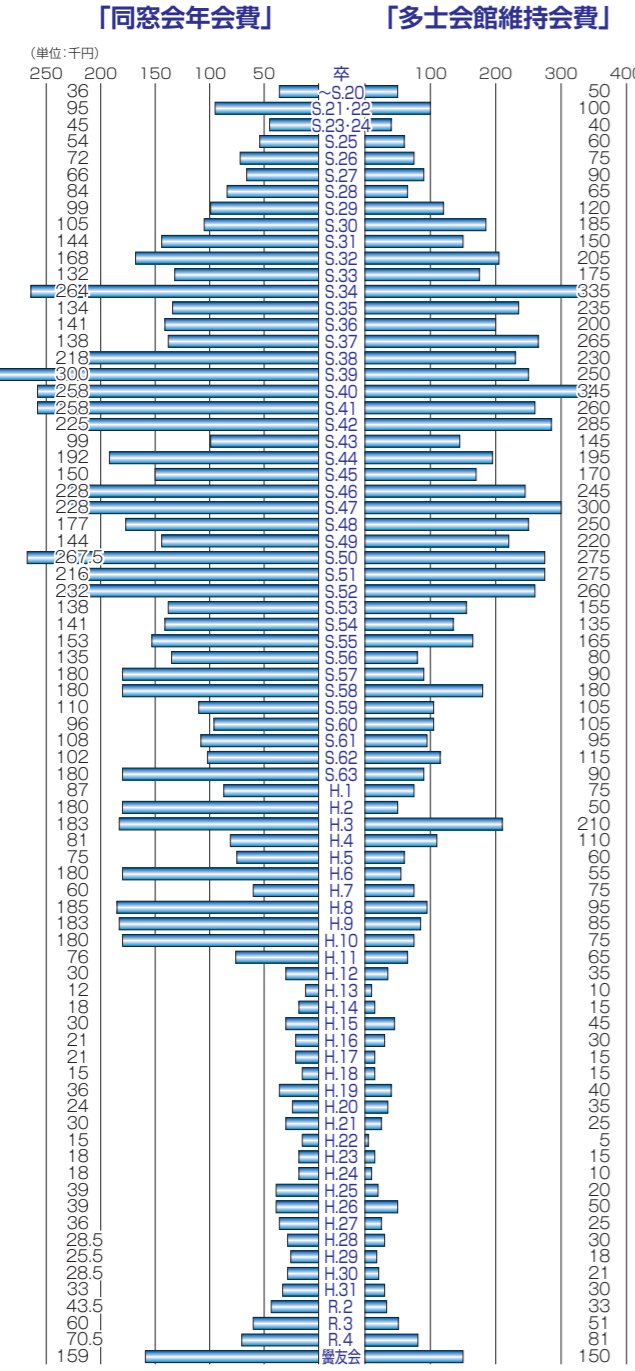
卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名
S23		S50	野口 和紀	H13	緒方 佑亮
S24	古閑 孝之	S51	上城 弘幸	H14	林田 将吾
S25	平山謙二郎	S52	三本松秀高	H15	南部 隼平
S26	中川 志郎	S53	吉村 栄治	H16	松村 洋輔
S27	下田 金三	S54	石垣 利恵	H17	坂田 昌陽
S28	佐藤 公介	S55	千原 竹雄	H18	林 浩平
S29	藤掛 宣彦	S56	村上 博一	H19	宮森 大介
S30	大川洋次郎	S57	酒匂 士郎	H20	行徳 仁
S31	伊津野淳一	S58	坂梨 昭弘	H21	緒方 詩帆
S32	徳永 公治	S59	井上貴加志	H22	森 紘宇
S33	緒方 孝臣	S60	福島 大典	H23	池部伸一郎
S34	古河 幹雄	S61	杉本 幸生	H24	福本 和喜
S35	吉田 仁爾	S62	木場 達美	H25	西橋啓太郎
S36	井山 昭伸	S63	本田 洋一	H26	野間 顕斗
S37	入江 昭雄	H元	吉田 二浩	H27	白石 和真
S38	田中 勇三	H2	永村 哲宏	H28	木村 優成
S39	進 朗	H3	坂田 富裕	H29	宮崎 純望
S40	宮部 一郎	H4	森 長浩	H30	馬場 竣也
S41	大嶋 和博	H5	宮田 一起	H31	詫間 未悠
S42	早田 幹雄	H6	塚本 康洋	R2	松山 航大
S43	日置 和統	H7	下田 祐樹	R3	西富みどり
S44	山下 公一	H8	大塚 一平	R4	園田 春
S45	今村 新一	H9	深町 洋輔	R5	池崎敬士郎
S46	西府 裕一	H10	井芹 文義		費友会
S47	有働淳一郎	H11	洲上 博貴	S50	徳田 正己
S48	白石 正治	H12	荒木 大助	S53	松本 博昭
S49	岩永 宣治				

令和5年度 済々黌同窓会 委員長・プロジェクトチームリーダー

委員会	委員長	リーダー
財務委員会	尾本 裕昭 (S54)	
事業委員会	松村 和也 (S63)	
母費支援委員会		
・進学奨学金制度 PT	北里佳寿子 (S60)	成尾 雅貴 (S52)
・困窮学生公費助成 PT		成尾 雅貴 (S52)
広報委員会		
・会報作成 PT	野田 研一 (S50)	上野功一朗 (S61)
・会報広告 PT		野田 研一 (S50)
・費辞苑 PT		眞藤 隆次 (S57)
・史料保存顕彰 PT		多久 善郎 (S47)
青年会	富永 結貴 (H16)	
R6 大同窓会実行委員会	南部 隼平 (H15)	

「同窓会年会費」と「多士会館維持会費」納入のお礼

「同窓会年会費」と「多士会館維持会費」の令和4年度納入金額を下のグラフに掲載しました。沢山の皆様にご協力をいただきありがとうございました。



広告募集のご案内

1枠：50,000円、同窓生約25,000名に向けて広告・告知をしませんか？

「同窓会 会報誌であなたの会社や活動をPRしませんか？」

この会報の製作・発送費などは、本誌に出稿いただける皆様の広告費で賄われております。広告PRへ活用や、母費支援としてご協力ください(法人・団体・個人は問いません。学年PRもOK！)

次年度の会報広告ご協力申し込みは事務局まで右記のQRコードからも可能です→

◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

▼会報の編集作業を通して、それぞれの場所で開催する多くの同窓生に接する。だから毎年のこの時期、沢山の刺激を頂戴し、改めてその多士済々ぶりに感動を覚えている。与えられた環境、置かれた立場は様々。懸命に頑張るその姿には上も下も、大きいも小さいもない。どれにも、人の心を動かす力があると思う。今回の会報でも、それがお伝えできていればと願っている。(上)

【広報委員会】委員長・野田研一 (S50)

【会報作成PT】

リーダー・上野功一朗 (S61)

サブリーダー・田上賢祐 (S49)

メンバー 鷲頭英司 (S41)、猪猷一郎 (S49)

島田等 (S49)、迎田恒成 (S49)

倉澤隆子 (S51)、楠田節子 (S52)

吉田光一郎 (H30)、上西川原千晶 (H4)

古池泰士 (H14)、南部隼平 (H15)

中村俊雄 (S44・副会長)

長谷川佳代子 (S49・副会長)

岡本一隆 (S52・前副幹事長)

喜多奈美 (同窓会事務局)

【訂正とお詫】

前号25頁「済々黌全国制覇の記録」で水泳部、陸上部の記録に誤りがありました。校正時の確認不足でした。訂正し、深くお詫びします。

正しくは、

◆水泳部

昭和26・28・35・36・42年

日本高校選手権水上競技大会水球競技 優勝

昭和32・43年 国民体育大会 優勝

◆陸上部

昭和30年 高校陸上選手権

男子の部総合優勝

男子2000m 優勝(川野征夫)

男子4×200mリレー 優勝

【会報広告PT】

リーダー・野田研一 (S50)、河野祐生 (H18)

多士会館 だより

令和4年度は、総額 **9,144,000円**の多士会館維持会費をご納入いただきました。ありがとうございます。多士会館は、皆様からの維持会費納入及びご寄付を元に維持・管理、運営されております。今年度のご納入にもご理解、ご協力いただければ幸いです。なお、ご納入へのお礼は、会報へのお名前掲載にて代えさせていただきます。ご理解、ご了承の程、宜しくお願いいたします。

維持会費をいただいた方々(敬称略)

昭12(故)乙丸勝幸 **昭13**清田泰臣 **昭17**宇野昭彦 **昭18**富永橋郎、松田幸雄
昭20 昭19 加藤逸雄 **昭20** 田上正昭、北里典三、後藤辰雄 **昭21** 井上茂、高江陽一、吉田昭之 **昭22** 荒木忠、荒木通章、稲田正雄、緒方誠一郎、欽英夫、田中邦輔、彌富孝一、吉弘義鑑 **昭23** 甲斐昭良、日高賢志 **昭24** 古閑孝之、田川聖也、吉永正人、和泉正一、高森安生、渡辺勝信 **昭25** 平山謙二郎、板井敬明、松澤賢吉、安田昌資、赤嶺高照、加来俊彦、高宮亨、松見達俊、田中穂伸、林田利村、村上静夫、白木伸到 **昭26** 佐藤泰将、早田武彦、松永晃、中川志郎、瀬戸口龍雄、宮崎晃一、江郷若五郎、若石研一、後藤俊郎②、北里謙祐、大塚樹也、片桐亨、中田敏男 **昭27** 緒方義文②、坂田定苗、小川一光、大島丈司、久木重尚、須藤正二、中村善雄、佐治武光、佐野正憲、松岡英世、沖村浩史②、加藤卓哉、荒尾兼道、菅原平、武藤宏一郎、橋口武仁 **昭28** 田中實夫、東誠之、本田智幸、澤田多喜子、松村國彦、佐藤公介、濱崎美登里、野口泰一郎、渡辺恭一、瀬崎英次、中村秀久、三牧都西郎、樋口経雄 **昭29** 大林武敏、坂田晃司②、篠塚真澄、山中信子、村上良吉、小野敬太、北里綾子、竹下洋敏、松田汲子、宮本安基②、中村康夫、大森義行、小山照映、小西司、内田千恵子、藤原京子、藤掛宜彦、瀬井節子、鬼塚博子②、木原良克、岡崎孝博 **昭30** 大森公、木村昭敏、栗山達公、瀬口剛夫、廣岡克己、西靖子⑥、宮本雄一、森壽樹、岡岡千哉恵、木村純久、西田典二、野田昭士郎、田辺隆秀、谷口正信、濱武義征、山之口浩、稲本浩二郎、田尻正三、西岡輝雄、古住洋二郎、山並貞一、藤本憲成②、坂崎善之、野方民雄、岩永猛、藤田紀美子④、高田敏之、山室紀雄 **昭31** 田邊暹、福岡良一②、前田英明②、井手俊一、栗崎達夫、中山満州夫、中山保隆②、羽室道夫、松崎直一、吉井瑞代、木村志洋②、大群憲司、林田博子②、松岡倫人、森由美子、堤豊樹、浅山混③、小山寛、椎崎敏臣、益永九郎、後藤弘子、末廣保子、中原聰子、丸目佳代子 **昭32** 太田能章、永村勝子、成松憲、石口信雄②、忍那龍雄、倉岡久一②、岡田一雄、中原光一、連岡久一、荒牧トモ子、上原一明、西岡俊郎、平瀬直邦、赤尾美知子②、宗方良晃、関正康、徳永公治、松岡良典、松本耕仁、下田康夫、永野亨、福田弘、御船真也、吉村正美、井上孝助、江尻良貴、高田浩一、田中恒俊、浦田邦夫、田中将臣、橋本潔、前田栄治、松田長久、安藤雅夫、河崎敏、武田征章、松川孝之、古岡健 **昭33** 沓々堂三三会②、村田六三郎、野田哲也、吉敦子、北里良恵、泉洋介、東田哲也、清田徳弘、森正義、島崎俊和、白石隆士、岩本忠司、境興一、阪田征二、加藤肇、林田紀久男 **昭34** 草野良守、田中和夫、藤本寛②、堀川英祐、守田信、森山敏晴、安武紀重、川崎紀宏、高田誠、古市規矩夫、古河幹男、堀川沙、前田和夫、前田利雄、森信孝、渡邊肇、若本洋一、交野富清、川地伊佐男、河原畑広②、志水敏男、西村浩、上田正幸、神戸威④、齋藤長一郎、塩田隆、野口剛、藤森剛、古荘幹郎、桑田峰子、大久保敏住、川上禎士、田中一郎、三角恭須子、馬場英夫、馬原薫、湯貫秀昭、石坂千蔵、一瀬弘輔、大里八朗、若本サキ子、左座決、山内清宏②、中原修治、齊藤芳邦、中嶋義一②、佐治紀子、高野賢一、藤本脩、益永高吉、下田龍二、田添克衛、原忠雄、反後加津子、沖村将史、小泉満、末次義久、松野道夫、盛谷貴美代、矢野賢一 **昭35** 亀光秀明、坂野照、與繩義昭、境正俊、笹淵澂、高岡勉、中西照貴、福味信治、後藤一山、山田龍也、与田誠、淨住護雄②、坂本和義、甲斐博之、園田浩生、長谷川義郎、赤星亨、吉田仁爾、吉田紘彬、大坪健治、原口貞信、松田中行②、有田公德、沖田正昭、中田征二、松本洋三、荒木茂和、若木龍一、寺尾潤、坂井弘元、中村光宏、服部康昭、水室俊介、本島穗徳②、岡本定昭、金崎勝④、河田惠明、菊池文彬、正源司克也。(故)野口邦夫② **昭36** 井上勲、大森誠、川川恒彦、藤田健司、森英久、門田津々久、清見吉則、井山昭伸、酒井保之、福山誠、松岡勝之、櫻尾康志、成松至誠、山口健一、古城茂徳、櫻井毅、佐藤肇、須藤洋右、永田哲哉、木下桂甫、上村龍淵、清永徳昭、村田富子④、蔵原光治、藤瀬憲久、松村秀一、小村泰記、土屋立親、山田紘夫、伊東昭正、島田輝昭、島本哲雄、城本敬一郎、深田齊、豊後五土 **昭37**

法花津剛健、田中裕、長岡信玄②、橋本明②、藤岡孝輔、森敏博、森明男、緒方征二、尾田正幸、河井浩二、木田征②、中嶋深、西山立義、石坂信子、伊藤彰宏、緒方忠昭、岸野博、林幸雄、村山知之、北村政雄、渡邊信子、三原宏、坂田祇彦、佐々孝雄、坂本憲博、佐藤芳彦、白石淳、高見繁廣、三宅洋介、小川雅道、甲斐光宏、坂田敏二、花田武久②、前田和、正木航二、松田勝海、岸孝太郎②、吉武康一、入江昭雄、合志洋一、中西信之、西島幹男、福島固夫、又吉真雄、丸山忠、守田彰俊、一瀬政太、松山捷夫 **昭38** 出井嘉治、春野博一、永野健二郎、那須龍昭、内田幸孝、佐藤敏一、柴山武、山田俊孝、内田周興、甲斐孝太郎、古閑忠之、土田穰一郎、永田五郎、福本哲雄、松永芳盛、松本秀昭、渡邊春海、甲斐義孝、永田靖文、武藤久義、田北成樹、南誠、洲上健一、谷口禮三、許田重治、山内清隆②、大塚古四郎、菅原洋、関健二、松岡秀一、小林マチ、元光夫夫、前田勝博、松本益美、草野龍二、河島義雄②、栗林忠信②、野口敏夫④、樋口英明、松本武夫 **昭39** 権田厚文、原賢一、日方和義、内藤和子、上妻正義、齋藤芳彦、佐藤利喜夫、原博志、武藤勝、山口賢二、小森田治、坂口文雄、松本三洋、松村義隆、小岡完起、越智通武、川上正人、北村博治、坂本唯一、進朗、正清栄二、河上橋夫、西尾剛一、日隈耕右、西村幸吉、藤田正、藤本勇夫、宮田英夫、渡辺謙一、佐々木久、成松正一、宮崎國忠、日永田義治、野瀬雄二郎、永田クニ子、宮川良雄、伊藤晴雄、北島剛房、福田章、吉野功、阿部孝郎、崎村信弘、高宮城實明、馬場彰、東征徳、松村英信、木下芳則、清崎和士、下田寛幸、徳永肇治 **昭40** 池崎隆吉、岡本重則、清本健一郎⑥、相良久次郎、村田俊毅、藤田秀人、令和昭、岩本卓也、豊住敏子、佐藤淳也、福住耕一、福永敬行、早川洋一②、植村雅哉、内田義治、木村次郎、工藤惠二、栗山雅敏、東求、吉原康彦、中西政之、上田博士、岡崎一孝、木村賢治、清田和之、平野正憲、伊藤光紀、川崎善隆、川原文次、田邊民義、齊藤宏、佐藤謙二、守角敏彰、伊豆英一、尾田原初則、塚本洋一、津留隆男、増田和博、松本英隆、藤生史子、古閑邦洋、紫藤三千年、村上一恵、山崎信行、雨森史郎、浦本民生、境哲彦、坂田憲二、櫻井忠明、中村壽憲④、西克明、松下好一郎、大野一也、富田邦治、中村勇、藤井進、本田重春、松見敏夫、宮部一郎、山下和雄 **昭41** 五島和廣、安倍勇三、甲斐一郎、木村朝男、望月美②、下村義治、塚本淳一、中野健二郎⑥、安川泰一、有馬徳、下城教士、角田不二雄、濱本英男、原田康雄、本田守弘、豊永喬、川上孝雄、久藤清己、宮田義則、佐藤雅英②、古川裕久②、溝口康三、宮本憲一、中村弘則、寺崎温子、草野峰晴②、森伸一、岩本昇一、中山峰高、高村秀夫、荒内研吉、伊東登記男、植田裕也、大久保純一、駒崎伸②、岡田誠司、西野眞一、宮崎朝夫、大嶋和博、豊原正智、松原正安、三原耕二 **昭42** 荒久経世、浦原俊一②、後藤泰昭、湯原清義、柿原久也、矢野登久男、平野俊晴、藤本直、芦野純也、浦本保典、山内治樹、塩田義敬②、沼倉由美子、松永盛文、東ヒトミ、石淵博人、積道英、橋口廣則、前川隆道、石井良照、津田秀、鍋田昇一、早川幹雄、江口克郎、栗崎泰寿、徳史隆、藤江義信、本田英一、松尾誠、三井隆、村上義幸、山田道夫、與繩英二、甲斐孝、山本芳比古、大嶋健一、木上隆幸、小島哲夫、藤波好文、伊藤俊昭、向坂裕夫、田中豊、中川昭夫、永田昭、上野倫義、江藤雅昭、児玉昭男、武原重春、佐藤俊男、森健治、若本幸次、上野博久、鹿野野子、菅野幸裕、上村千恵子 **昭43** 岡島伸平、堀邦夫、岩永基文、藤本良介、川野康宣、中村和道、本田良一、毎繁敬一、柏尾俊明、穴倉淳、渡辺啓介、緒方晴夫、坂口忠治、高木直範、阿部修、石口文雄、芹川とし子、出井健一郎、藤澤哲也、竹内勝行、野口英治、橋上正、境晴信、永田民夫、宮崎順一、熊元啓人、潮田憲正、村上賢治、山本哲朗 **昭44** 福嶋一盛、可児明博、杉野裕治、角居恭一、諸塚建次②、緒方英夫、並田紳一、河村邦比兒、林和紀、東孝男、東誠信、小原重明②、加藤博一郎、河野達朗、渡辺隆、渡草子、安藤慎一、瀬川紀代美、木村一泰、若下知生、上田幸穂、村野芳芳、水々崇博、西島喜義、西村明博、平野喜代、森川和憲、橋口治、下田博久、緒方啓司、台信雄一郎、谷川富夫、石田幹一郎、川口三三、中村俊雄、牧野照明、宮本康二 **昭45** 今村新一、近藤勇一、田中良典、井川正明、高本省三、長松和典、藤本完二、

古澤龍一郎、古庄敏美、龍頭保夫、森永久、藤原隆、中原正博、永村真、野田和夫、津野田昌平、岡村龍生、片山公則、村上秀隆、安武照能、天藤貞夫、二貝吾、小島肇、中島勝弘、松田講明、松本正俊、横手敏明、井上雅敬、木原和生、児玉睦雄、高木清一、武石富士雄、萩野規寛、平木実 **昭46** 白濱清、津留留伴一、内田日出海、坂元京子、橋本美幸、本田惠典、西府裕一、松浦徳之、藤谷南、松沢淳、上田由美子、和田賢二、藤永玲子、谷川龍男③、花田智、藤本弘規、馬原浩、岡本公明、園田真由美、島田明直②、緒方由紀、古島幹雄、井誠輔、内山貴典、鍛田和實、三村利光、小室三男、坂田信介、丸山茂義、赤星良一、銀永明弘、西山庸二、平井智恵②、布田悟、和上哲、阪本則秋、中尾隆司、中原勝彦、松田辰雄、宮崎文昭、宮原和男、大賀秀敏、太田守、佐島誠一、小堀恭裕 **昭47** 高橋玲子、佐藤謙二、武田恭幸、田中穂積、西谷孝志、泉和伸郎、今池公一、名和直子、加来三津雄、久米廣重、佐竹裕比古、村上利理子、瀬上格、久佐賀信、久藤了、久保田真理子、田中正彦、緒方誠子、山口健一、石川了一、緒方幸夫、齋藤英、田口朝昌、安浪小夜子、光永恵司、酒井英史②、中村洋一郎、榎元孝二、諸島俊俊、井川隆明、石田泰紀、加藤秀憲、高田隆夫、森正晴、西村慶二、小村和美、潮崎智子②、堀俊博、堀江伸、岡崎修司、荒武佑介、太田恵一朗、末廣高明、外園誠、堀辻尚司、林田悟、日隈孝、秋吉睦、安部賢、池田英満、有働淳一郎、大隈憲二郎、島田政博、筋浦立成②、安武道美、多久善郎、松下俊一 **昭48** 興恒聖二、前田俊明、前田祐一、中島智喜、三浦一水、野口孝子②、久木田憲司、齋藤正昭②、水野豊、宮本哲也、毛利浩一、齊藤一誠、園田征次、米村宏之、熊川眞二、古閑啓弘、杉山幸宏、津川優一、小堀都江、加賀山保一、加藤昌子、三原良彦、緒方和則、川崎俊明、船越和美、松本有子、吉永一也、上野淳、木村和久、中村滋、別当公一②、曲棍信之、大沢由実、白石正治、松崎剛、松本一也、三宅由紀夫、荒木朋洋、山本直樹、金子篤志、永藤久雄、椎葉辰也、林田清一、松田邦宏、松田直、松村春記、山下彦一 **昭49** 内尻廣和、光永孝子、田上賢祐、伊藤康正②、古庄信、永野拓子、山田一義、錦戸正巳、林茂光、戸上貴雄、中村聖、松山泰典、荒瀬健夫、今井政文、岩永宣治、桑原隆、永田清一、大塚二郎、角岡秀昭、久我彰登、策典典、長谷川佳代子、宮竹克彰、久木山清貴、中村信、久木山厚子、山本利徳、横尾雅良、角岡佳昭、坂田淳一、島田淳一、平木敏郎、毛利広司、岩下利幸、鮎本一己、泉英和②、坂本省吾、篠原守継、松田亨、松藤誠郎、近藤元三、光永邦保、山田隆典 **昭50** 甲斐康夫、小西勝一、清水裕美、豊田恵子、高橋智子、本永健次、石川穰、木村道裕、湯原賢都子、堀陽子、内村直子②、田浦眞光、上村妙美、森洋一、ノノ瀬範秋、岩下佳史、緒方久喜、小田正、河野景治、堤常雄、山元章、上田裕正、竹竹俊夫、行徳一②、小宮隆、中西信雄、野口和紀、松野成志、安岡幹雄、岡田恭代②、緒方進一、阪本恵美、福岡祥子、伊東山徳代、橋田昌弘、田代正道、鶴川敏敏、本木典利、永田邦規、池田雄一、置田誠、藤岡昭一郎、本芳幸、河瀬清久、村野茂人、田嶋敬、野田研一、宮崎隆志、赤坂寿、橋本雅哉、原田平、布田俊 **昭51** 若永秀利、高濱左衛子、長尾信一、鈴木悦子、倉澤隆子、塚本富男、上野京子、黒木成子、橋本雅彦、六田幾子、伊東一成②、住吉淳、松永宏二、三原治、柳田誠喜、合志京助、六田祐二②、内田和、茂永勝彦、塚元秀樹、川口芳弘、中村智美、阿部健次郎、伊藤道一郎、竹本ひとみ、木原康、坂口秀雄、森田悦雄③、吉田啓一、上城弘幸、中曾哲也、野田裕三、松枝泰生、木戸知洋、野澤文文、横尾祐輔、岡健一、古ヶ江隆廣、大田黒造一、門岡良也、橋本吉弘、巻俊光 **昭52** 住友佐和子、木村彰男、白坂知子、松本康二、若男一秀、上野恵子、川上裕子、松田義彦、中村嘉宏、宮崎安公子、城間智子、村松弘美、今村安孝、籠田文彦、北原政典、木庭民夫、成尾雅貴、野口健一郎、松本龍一②、三角浩一、井上由紀夫、三隅清孝、櫻木信幸、濱田和幸、藤木谷安信、三賀山賢正、水上雄二、藤古道子、深谷義、中園富一郎、古城戸柚香、藤本正博、山口潔志、吉岡正一、大嶋浩正、岡本一隆、荒木博、有働芳弘、東博文、藤田一郎、向田敬二、鎌木健一、辻健二郎、村尾彦彦、西野眞一、伊藤明彦、大川正晃、尾方良晋、三本松高②、紫垣保信 **昭53** 高下由喜子、藤本眞一、宮本研司、徳仁郎、渡辺美也、

篠原妃代、甲斐紳一郎、島生博、中本明男、郷原友和、小松野洋司、竹内信也、中山明、野口伸三、福田洋一、夫代章、船津暢宏、松島猛、松村恭一、飯田裕、紫垣裕也、合志和江、益崎慎司、安永昌史、塚田浩徳、上村哲也、石松義弘、緒方久幸、外海卓二、佐野俊郎、宮本和明 **昭54** 谷口育聖、久我千幸、山内勝志、徳永賢治、島井昭宏、長谷富美、長谷信夫、市原浩幸、甲斐田剛、久我勇功、浅野浩義、若間浩志、藤藤政浩、玉垣秀、松本洋志、山口明博、塚田浩徳、中川政嗣、秋岡陽一郎、勝木隆昌、内崎祐一、木村茂、笹岡博文、中山義也②、前田浩俊、松川浩一 **昭55** 津由千鶴、藤本恵祐、緒方一徳、北里真一②、幸山英史、千原竹雄、木野康子、石岡貴士、大田黒亮、西一也、有瀬洋、生嶋順理、川口理一郎、高橋利男、白石伸一、武石敏幸、廣瀬修治、坂田智子、中原正義、山内芳裕、上原浩志、甲斐智子、菅田雅之、鶴田広幸、永野睦弘、河野広光、鍛田浩二、田代桂一、宮田高、竹熊与志、平山代助、山口賢太郎 **昭56** 前田茂雅③、吉川琢実、伊東昌子、若本啓二、竹熊尚夫、北由佳里、嶋北博史、副田正一、村上博一、坂田輝久②、瀬井山之内修② **昭57** 井澤利治、北野謙司、中村善織、岡崎友、建岡尚也、西村宏貴、土井雅雄、岡崎文夫、石本尚志、川野章子、川口英津子、小島和幸、前原健②、立野邦幸、平田正治郎、本田英一郎、山之内久 **昭58** 福山龍太郎、松山裕尚、中村伸、堀川貴史、倉岡征宏②、森山義子②、永沼三貴生、栗林善織、若竹洋一、丸山久美子、西本寛、荒金敬寿、田賀賢一、坂梨昭弘、櫻井博邦、若永一宏、上瀧昇、立山智子、堀田英、松本和也、松本俊、牛嶋栄一、友田桂子、中津健之、藤田博、前田久美子、安達敏夫、池澤謙、酒井秀樹、畦地博子、西岡賢太郎、田中美佐子、牧野敬史、竹内浩二 **昭59** 坂本二、佐々木千歳、香山政史、堤辰俊、宮田房之、宮原佳子、青山和紀、井上貴加志、河野光義、井形繁雄、片岡加陽子、石井朋子、金子礼子、渋谷公徳、末吉健一、峯吉貴明、藤木健弘、内閣輝夫②、上野素成、緒方誠司、飯星力 **昭60** 古閑広章、富永哲生⑤、石村久恵、南真佳子、野村公福、園川弘美、笠詠久②、北里住野子、赤池裕、牧圭一郎、松永圭司、米田高章②、福田達朗、小山英文、賀来万由美、高須尚美 **昭61** 杉山修、菅村たか子、中村亘志、浅井勇一、坂本薫子、城内春美、木村俊介、杉本幸生、原田薫一、川端貴美可、楠本士朗、趙岳人、上野功一朗、牧野英典、八重徳保、甲本哲哉、原田崇作、田真真吾 **昭62** 河瀬敏、米満宗二、西口直子、尾田とし子、吉村健治、若村みさ、田中孝和、藤珠江、坂井裕美、谷口明雄、白石史也、馬場昭治、甲木和世②、木場達美、田紀石、堤祐子、羽瀨薫、古荘義雄、村岡真雄、岩崎圭祐、海津泰夫、野口邦治 **昭63** 井上友希子、藤本猪智郎、本田洋一、吉田一治、堤野裕一郎、吉村昌展、木原稔、平川真由美、篠原英典、黒木園子、佐藤和代、神毛志、本田美加、中野幹一、西英典、春木秀紀、甲斐大童、村上邦博 平元田島直美、井上和子、森田研、吉田二浩、一三真由美、金谷聡子、栗原洋美、阿向泰二郎、石崎淳一、清田雅智、阿向尋子、浅香英夫、高野正太、古市真木雄、積本一郎 平2 牛島将臣、野口武彦、平林武夫、田中美保、田尻哲也、永村哲宏、井上将、古谷悟千、山村健太郎、小山佳宣 平3 清田裕敏、高比良光洋、荒川徳太郎、堤祐成、寺崎拓、西山八代、堀里千賀、松本琢磨、二本松正子、石原真理子、中棚達、谷陽幸富、宮智智子、古橋さきり、金光香陽子、高橋幹一郎、米川健一、假屋英雄、高木忠祥、渡邊千登勢、荒井豊子、緒方英雄、郡同样、堀惠美、中村裕子、佐伯薫、田中忠宏、西村憲治、森康成、吉田光一郎、渡辺直人、坂田富裕、早川浩史、松本直也、井上清隆、園田隆弘、田中秀典、西島隆、竹本純子、水村晶範、瑞穂賢治、森博一 平4 林智賢、永村裕子、中島史貴、渡邊久美子、土井恵子、吉原勇二、武本英博、永野由紀②、山室直子、服部秀康、Mathys可奈子②、山本路子、佐藤優子、坂井弓恵、椎良樹、山内貴雄、吉田貴治、千原崇裕、赤髭かおり、松尾浩 平5 田嶋昌幸、福島一章、田端あい、遠山啓、金子昌稔、緒方香織、久保謙介、山口幸恵、村田夕起子、古川真一、宮田一幸、坂井貴 平6 三木步、長尾瑞穂、上野尚文、松元亮平、池崎晃、荒木康夫、濱田健一郎、池7 高敏憲、石橋浩、松田文吉、古賀綾代、平7 高橋葉子、南條陽美、隈部文彦、東健一郎、板井俊介、下田祐樹、田中夕美、甲斐泰樹、森元博徳、